

II. 資料編

1. 介護ロボット地域フォーラム 募集要項

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」

募集要項

募集期限 令和3年5月24日(月)～6月25日(金)

厚生労働省が実施する「介護ロボットのプラットフォーム事業」の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関を募集します。

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行うものであり、予定の件数や予算に到達した時点で募集を終了しますので、予めご了承ください。

なお、募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。詳しくは、当協会までお尋ねください。

公益財団法人テクノエイド協会

目次

1. 目的	3
2. 対象となる機関	3
3. 対象とする介護ロボットの範囲	3
4. 実施内容	4
5. 交付額及び実施件数	5
6. 協力機関の選定等について	5
7. 実施期間	5
8. 実施結果報告の提出	5
9. 関係書類	5
10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先	6
11. 様式	7
様式1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」	7
様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」	8
様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」	9
様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」	10
様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」	11

**令和3年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における
「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」
募集要項**

1. 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、介護ニーズが多様化する中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入が進められています。

こうした中、厚生労働省では「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を実施しているところですが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集します。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とします。

（参考）

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の開始（令和2年8月）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000652897.pdf>

2. 対象となる機関

- （1）都府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。）
- （2）福祉用具・介護ロボットの普及啓発を行っている機関
- （3）その他、本事業の実施が可能であると認められた法人

上記（1）～（3）のいずれかに該当し、かつ以下のいずれかの都府県に所在する機関とします。（1）の市町村が行う場合、当該市だけではなく所在県の全域をカバーすることとします。

介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県

・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・茨城県	・栃木県	・群馬県
・千葉県	・東京都	・石川県	・福井県	・山梨県	・長野県	・岐阜県
・静岡県	・三重県	・滋賀県	・京都府	・奈良県	・和歌山県	・鳥取県
・島根県	・岡山県	・山口県	・香川県	・愛媛県	・高知県	・佐賀県
・長崎県	・熊本県	・大分県	・宮崎県	・沖縄県		

3. 対象とする介護ロボットの範囲

「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改訂）における6分野13項目に概要する機器及び、介護施設・事業所のサービスの質の向上・効率的なサービス提供に資する機器・システムを対象範囲とします。

ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）



4. 実施内容

以下のとおりとします。地域の実情やニーズに応じて計画してください。

(1) 必須項目

介護ロボット地域フォーラムの開催

①介護ロボットの展示

最低でも10機種以上の展示を行うこと。

②介護ロボットの試用貸出の受付

当該地域の要望を受付て全国14か所（予定）の相談窓口連絡すること。

③介護ロボットに関するシンポジウムの開催

介護ロボットの普及に係るシンポジウムを開催すること。

シンポジウムでは、厚生労働省が行う介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介や開催地の自治体を実施する介護ロボットの導入支援に関する紹介を行うとともに、介護ロボットに係る最新動向等について情報提供を行うこととする。

(2) 任意項目

地域フォーラム開催時のイベントとして、福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じた企画を立案していただいで差し支えありません。

例えば、

- ・介護ロボット導入支援事業による好事例の紹介

- ・上手に導入・利活用するためのノウハウ、ワークショップの開催
 - ・安全体制を確保するための取り組み紹介
 - ・ICTやロボット技術を活用した生産性向上に関する取り組み紹介
 - ・ロボット技術等を活用した新型コロナ対策や新しい面会システムの取り組み紹介
- 地域フォーラムの参加者に対して、アンケート調査を行い取り纏めをお願いします。
 なお、アンケート内容については、昨年度の介護ロボット地域フォーラム事業の報告書（P579-580）を参考にしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000771837.pdf>

(新型コロナウイルス感染症の対応)

地域フォーラムの開催は、原則、会場開催を予定することとし、感染症予防等の徹底をお願いいたします。

但し、政府により「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出された場合、あるいは開催地の自治体の要請により会場での開催が困難な場合は、オンライン開催への変更も認めることといたします。こうした場合は、事前に当協会までご相談ください。

5. 交付額及び実施件数

○1か所あたり、120万円程度（税込み）

※補助対象となる費目については、別表の対象経費を参照してください。

※謝金及び旅費、会場借料は別途精算払いとなります。

○8か所

6. 協力機関の選定等について

本事業を希望される機関は、「**実施要望書(様式1)**」及び「**経費明細書(様式2)**」を令和3年5月24日（月）～令和3年6月25日（金）の間に、電子メールにて当協会あてに（monitor@techno-aids.or.jp）提出してください。

応募されたものから、順次、当協会から厚生労働省に再委託の協議を行い、協力機関を決定して参ります。

なお、協力機関の選定にあたっては、全国的な地域のバランスを踏まえるとともに、要望書の内容を加味して決定いたします。

募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。選定状況は、当協会までお尋ねください。

7. 実施期間

内定後～令和4年2月末

8. 実施結果報告の提出

本事業を実施した機関は、事業終了後速やかに「**実施結果報告書(様式4)**」及び「**支出経費明細書(様式5)**」を電子メールにて、当協会あてに（monitor@techno-aids.or.jp）提出してください。

9. 関係書類

様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

- 様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」
- 様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」
- 様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」
- 様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」

10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（谷田・松本・根石（ねいし））

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL 03(3266)6883

電子メール monitor@techno-aids.or.jp

11. 様式

様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

令和 年 月 日

介護ロボット地域フォーラム 実施要望書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇（都府県名）介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施場所

--

3. 実施体制

--

4. 実施内容

--

5. 実施スケジュール

--

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経 費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合 計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経 費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

請 求 書

金 _____ 円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行った「介護ロボット地域フォーラム」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 協力機関及び案件

協力機関名	
担当者名	
案件番号	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇（都府県名）介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施場所

3. 実施期間

4. 実施体制

5. 実施方法

6. 実施結果

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレットなど入れてください。)

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出額	積算内訳
直接 経 費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合 計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出額	積算内訳
直 接 経 費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

対象経費

(申請できる開発経費)

本事業の実施に必要な賃金、謝金、旅費交通費、消耗品費、雑役務費、借料及び損料、会議費、通信運搬費、印刷製本費、光熱水費の直接経費等並びに一般管理費

各項目の具体的な支出例は、以下のとおりです。経費の算出に当たっては、所属機関の規定等に基づくこと。

なお、謝金及び旅費交通費、借料及び損料につきましては、精算払いとなります。

	項目	具体的な支出例
直接 経 費	賃金・人件費	・ 事業実施に必要な作業等を行う者の人件費 ・ 事業実施に必要な臨時に雇用する者の費用
	謝金	・ 事業の協力機関に属さないシンポジウムの講師等に対する謝礼 下記の参考単価基準額を参照
	旅費交通費	・ 事業実施に必要な旅行交通費（シンポジウムの講師等）
	消耗品費	・ 各種事務用紙、文具の類、収入印紙、雑誌等、その性質が使用することによって消耗され又は毀損しやすいもの、長期間の保存に適さない物品の購入費
	雑役務費	・ 振込手数料、両替手数料 ・ 会議録等の作成費 ・ 介護ロボット設置セットアップ費用 ・ アンケート結果の入力費 等
	借料及び損料	・ 会場借上料
	会議費	・ 会議時の費用等
	通信運搬費	・ 郵便料、運搬料、電話料等
	印刷製本費	・ パンフレットや報告書等の印刷費
	保険料	・ 試用等に係る保険料等
	光熱水費	・ 電気使用料、ガス使用料、水道使用料等及びこれらの使用に伴う計器類の使用料等 ・ 自動車等の燃料費
	委託費	・ 業務の一部を外部機関に委託するための費用
	一般管理費	直接経費の15%以内とします

参考単価基準額

(賃金)

一日（8時間）当たり8,300円を基準とし、雇用者が負担する保険料は別に支出する。

注）一日において8時間に満たない時間又は8時間を超えた時間で賃金を支出する場合には、1時間当たり1,030円で計算するものとする。

(謝金)

定型的な用務を 依頼する場合	医師又は相当者	日給 14,100 円
	大学（短大含む）卒業者又は専門技術を有する者及び担当者	日給 7,800 円
	その他	日給 6,600 円

2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果

(1) 栃木県

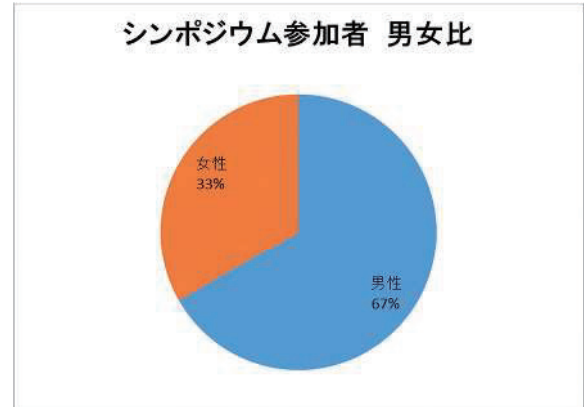
【資料 7】

令和3年度「介護ロボット地域フォーラム」
参加者アンケート結果

I. シンポジウム参加者向けアンケート集計

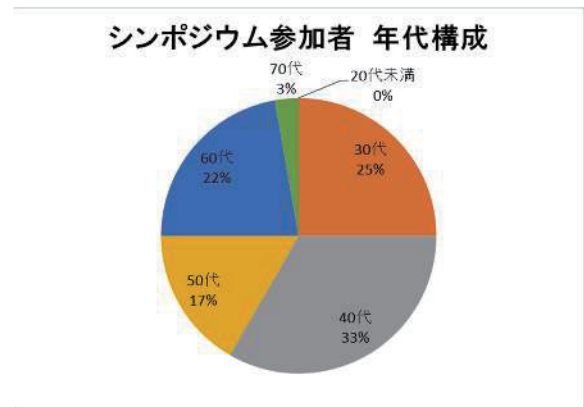
○質問1 あなたの性別をお答えください。

- ・男性 24人
- ・女性 12人



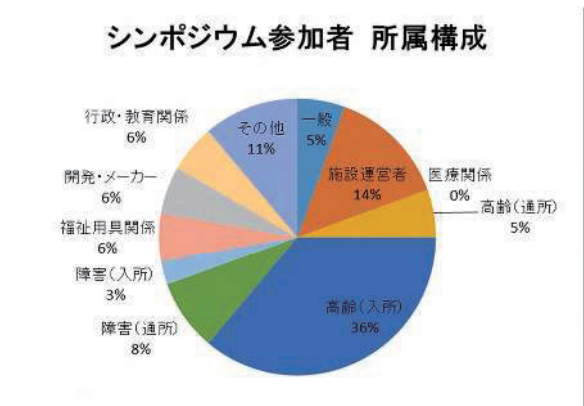
○質問2 あなたの年齢をお答えください。

- ・20代未満 0人
- ・20代 0人
- ・30代 9人
- ・40代 12人
- ・50代 6人
- ・60代 8人
- ・70代以上 1人



○質問3 あなたの所属をお答えください。

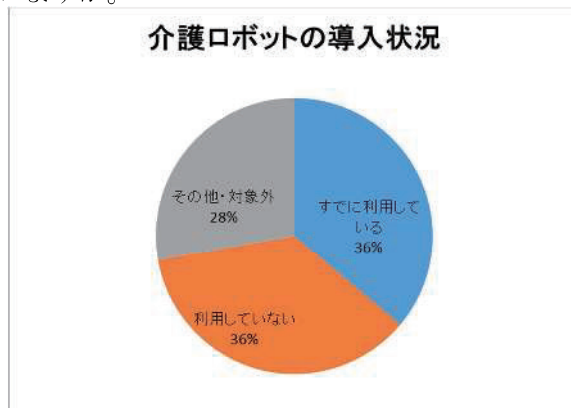
- ・一般 2人
- ・施設経営管理（施設長等） 5人
- ・医療施設 0人
- ・高齢者施設関係（通所） 2人
- ・高齢者施設関係（入所・入居） 13人
- ・障害者施設関連（通所） 3人
- ・障害者施設関連（入所・入居） 1人
- ・福祉用具貸与事業所等 2人
- ・開発・製造関係等 2人
- ・行政・教育関係等 2人
- ・その他 4人



(介護リフトメーカー・公益財団法人・高齢者施設団体・ケアマネージャー)

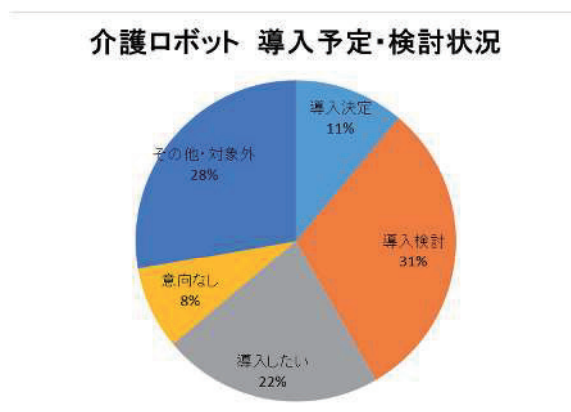
○質問4 現在介護ロボット・ICT 機器利用を利用していますか。

- ・既に利用している 13 人
- ・利用していない 13 人
- ・その他（利用対象外） 10 人



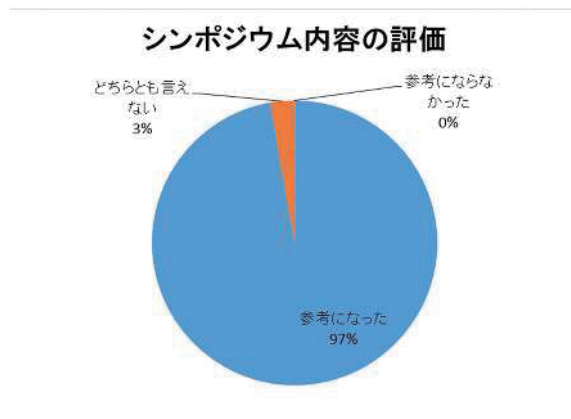
○質問5 現在介護ロボット・ICT 機器の利用導入（すでに利用している場合は追加）の予定や計画はありますか。

- ・導入が決まっている 4 人
- ・導入を検討中 11 人
- ・導入したいと思っている 8 人
- ・導入の意向はない 3 人
- ・その他（利用対象外） 10 人



○質問6 シンポジウムの内容は参考になりましたか。

- ・参考になった 35 人
- ・どちらとも言えない 1 人
- ・参考にならなかった 0 人



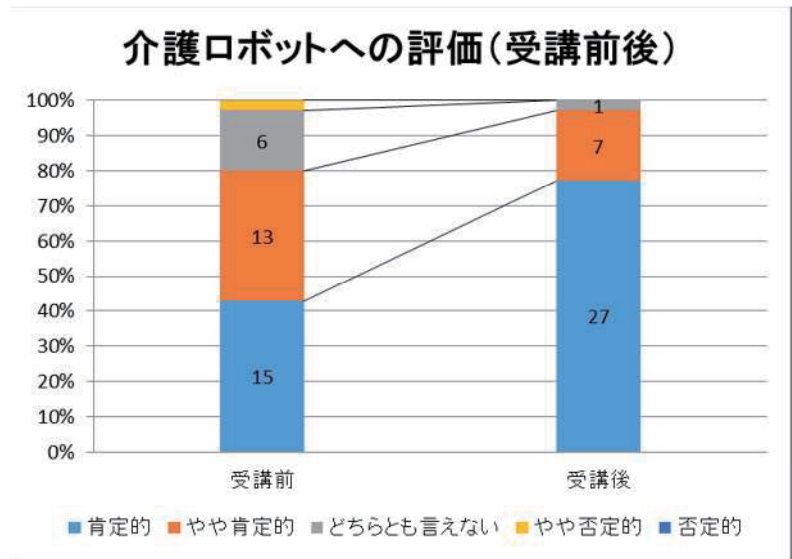
○質問7 介護ロボット・ICT 機器について受講前と後の評価をお教えてください。

□受講前

- ・肯定的 15 人
- ・やや肯定的 13 人
- ・どちらとも言えない 6 人
- ・やや否定的 1 人
- ・否定的 0 人

□受講後

- ・肯定的 27 人
- ・やや肯定的 7 人
- ・どちらとも言えない 1 人
- ・やや否定的 0 人
- ・否定的 0 人



○質問8 介護ロボット・ICT 機器について、または導入や利用についてのご意見（自由記載）

□主に参考になった内容についての記載

- ・施設での具体的な取り組みを知ることができよかった。
- ・介護ロボットの導入に関して様々な取り組みや制度があり、その情報について自ら求めていかないといけないと改めて思った。
- ・介護技術の標準化についての取り組みがとても参考になった。
- ・機器を導入している施設の話を知ることができて大変参考になった。
- ・単なる職員の労働支援ではなく、業務全般にわたる管理ができていることが必要であることがわかりました。
- ・課題や導入時の職員への周知方法など具体例が聞いて参考になった。
- ・導入費用に対して国や県がいろいろな取り組みをしていることがわかった。
- ・機器の導入で夜間の配置基準が変わってきた。
- ・介護分野の導入効果は聞くことがあるが、障害分野の導入効果はなかなか聞くことがなく、非常にためになりました。また、導入効果として、利用者への利益がなかなか出てこないという部分は、どの施設様でも同じ課題なのかなと感じます。
- ・まずはスマートな介護で離職防止や人材確保という部分をフォーカスして導入することがよいのかと感じました。
- ・他分野での導入実践が聞いて参考になりました。
- ・最新の情報を聞くことができました。
- ・介護ロボットを導入することにより、メリット・デメリットそれぞれあるが、いろいろと行ってゆき、メリットが多いように思いました。
- ・少しでも利用者さんと職員が楽しめるようにしていきたいと思いました。
- ・スマートでかっこいい介護は良いですね。
- ・2025 問題などを考えれば介護ロボットの必要性は不可欠であると感じる。また、ICT 導入による人材の質が高まることで経営にも役立つ内容である。

- ・介護ロボットの導入の制度について参考になった。
- ・導入事例などを聞くことができて参考になった。
- ・コロナ禍で感染対策ばかりの状況の中で自動ラップのものがあるのは良いなおもい、取り寄せたいと思います。
- ・ハグやほかのリフト以外の移乗機器を試用し、取り寄せては職員からバツ印をされてへこんでいました。もっと利用者に合うものをこれからも見つけていきたいと思います。
- ・滝田先生や岩崎先生のお話を伺い、時代に合わせた運営をされていること、重要さを改めて知れました。
- ・目の前の利用者や事業を持続させていくうえでも、フィッティングの意識を強くもっていくことができました。
- ・会員・団体の課題などを知ることができました。
- ・ロボット、ICT のデジタルへの移行は必須な状況が理解できました。
- ・これから検討していくので参考になります。
- ・介護系の営業で独立を考えているので、大変勉強になりました。

□主に意見や感想の記載

- ・介護ロボットを導入しても利用できていない部分があるので導入前に現場の声を十分聴いて安易に妥協すべきではなく、費用の面などで実際に使える機器を検討してほしい。
- ・日々の記録や非直接介護を行っている時間をロボット機器や ICT 機器の導入を行うことで利用者に還元できるのではないかと希望を持たた。

職員の離職、退職が続いているので、ロボット機器を活用して職場環境が改善されるといいなと思った。

- ・ICT 機器については、これからは必要なものとなっていくと思いますが、介護ロボットマッスルスーツ移乗リフト天井走行リフトについては、心のハードルを飛び越えないと使用していくのは難しいかもしれません。(カッコいい介護現場とは、ロボット活用だけではないと思いますが、考える機会となりました。ありがとうございました。)
- ・必要なことは利用者の利益。人生を通しての支援という目標をきちんと定めてあげることだと思いました。

- ・補助金などを活用して導入を検討する。
- ・補助金を多く使えるようにすること、機器導入前のレンタルなども積極的にしてほしい。

職員の心身ストレスが少なくご利用者様とかかわれることはサービスの質に大きく左右されると考えます。

- ・利用者、職員、どちらにも有効なため、導入は推進すべきだと思うが、導入により利用者の方が機械的な冷たさなどを感じないように気を付けなければならないと思う。
- ・機器の導入後にどういった研修を行っているのか具体的に知りたい。
- ・介護ロボットを導入することにより、スタッフの体の負担軽減となり、よりよいサービスの提供につながるのではないかと改めて感じました。
- ・当方介護ロボットや ICT 機器を導入支援する立場なのですが、導入してからの課題の部分が非常に興味深いものでした。単体のロボットだけが動くのではなく、連携することが大事で、あとは補助がなければなかなか導入できないのも実感しました。
- ・労働人口が現状していくなかで、活用が必須であると思います。

- ・補助金もありますが、初期費用も負担が大きい。(すでに利用中)
- ・使い方がわかりやすく、利用しやすい機器が増えてくれるといいと思いました。
- ・介護ロボット普及を推進していただきたい。また、ジャンルごとに明確に示してほしい。
- ・身体的な介助負担の軽減とデスクワークの軽減について、ツールの導入方法や制度の活用方法がわかった。
- ・今まで想像していなかったロボットなどがたくさんあることに驚いた。

業務にあたりこういうロボットがあれば便利だなとイメージーションを働かせながら業務にあたりたいと思います。

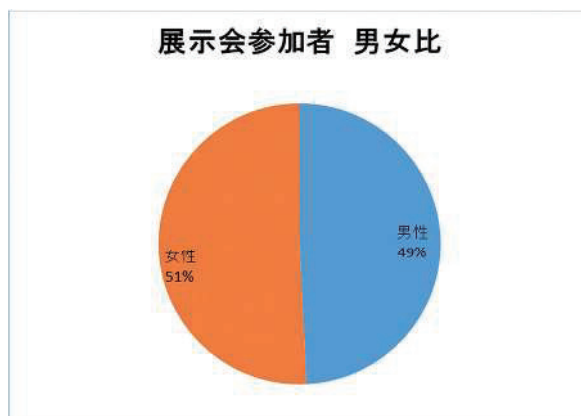
・記録システムエパット、PC増設し、記録時間を工夫しています。移乗機器と違い、すぐ結果や効果が出ず、アクセスポイントや機器も半導体のせいで遅れておりますが、来年度には成果が出てくるのではないかと考えております。コミュニケーションロボットの導入、考えました。

- ・まずは進めていくことが大切だと思いました。
- ・ぜひ導入したい。
- ・施設の状況などに応じて費用対効果などを考える必要があるのではないか。
- ・ニーズに応じてどのような機器が必要なのか今後は考えたいと思う。
- ・現場の状況を分析し、少しでも有効かつ効率的なロボットなど職員と検討していきたいです。ありがとうございました。
- ・各種補助金をうまく活用したいと思います。
- ・介護ロボットの購入にあたり、はみ出た分の額の減価償却はどのくらいとみているのかが気になりました。

II. 展示会参加者向けアンケート集計

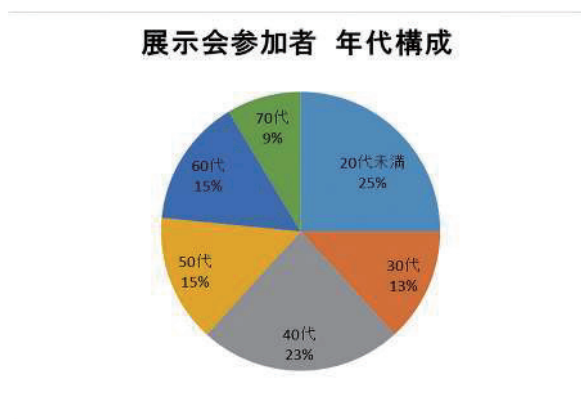
○質問1 あなたの性別をお答えください。

- ・男性 63人
- ・女性 65人



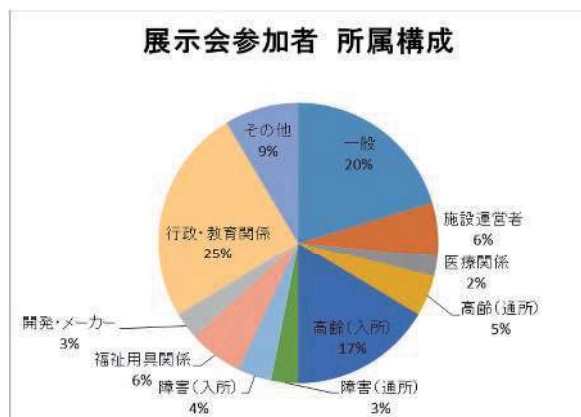
○質問2 あなたの年齢をお答えください。

- ・20代未満 1人
- ・20代 31人
- ・30代 17人
- ・40代 30人
- ・50代 19人
- ・60代 19人
- ・70代以上 11人



○質問3 あなたの所属をお答えください。

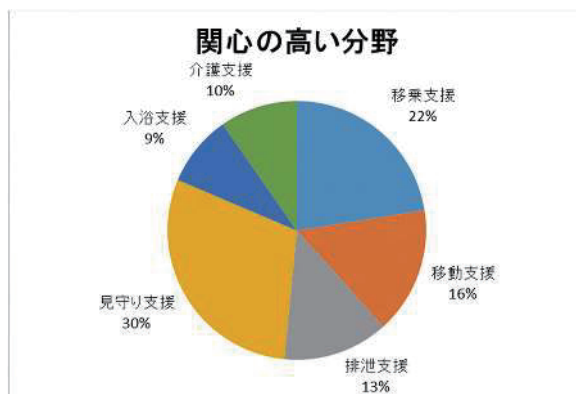
- ・一般 26人
- ・施設経営管理（施設長等） 8人
- ・医療施設 3人
- ・高齢者施設関係（通所） 6人
- ・高齢者施設関係（入所・入居） 21人
- ・障害者施設関連（通所） 4人
- ・障害者施設関連（入所・入居） 5人
- ・福祉用具貸与事業所等 8人
- ・開発・製造関係等 4人
- ・行政・教育関係等 32人
- ・その他 11人



（相談員2・重度訪問・介護リフトメーカー・居宅介護支事業所・評価組織・介護福祉専門学校・包括・ケアマネージャー・）

○質問4 関心の高い介護ロボット・ICT 機器は何ですか。(複数回答可)

- ・ 移乗支援 58 人
- ・ 移動支援 41 人
- ・ 排泄支援 34 人
- ・ 見守り・コミュニケーション 77 人
- ・ 入浴支援 23 人
- ・ 介護業務支援 25 人



○質問5 展示会の内容は参考になりましたか。

□参考になったかどうか。

- ・ 参考になった 116 人
- ・ どちらとも言えない 7 人

□参考になった理由

- ・ 介護 IT 化
- ・ いろいろな物を見て、マンパワーに頼らない考えが思いついた。
- ・ 知りたいメーカーなどが集まっていたので。ただもう少し種類が多くていいかも。
- ・ ICT 機器の見守り能力等の技術進歩を知ることができた。
- ・ 実物に触れて、実際に使用した時のメリットがより知ることができた。システムの導入できない機器の把握もできた。
- ・ 実際体験ができたため。
- ・ マットレスに取り付ける見守りシステムに感心した。
- ・ 最新機器が見れた。
- ・ 具体的な話を聞くことができた。
- ・ 天井からの見守りセンサー。
- ・ 新しい技術がわかりやすく紹介されていてとても興味深く感じた。
- ・ 自分のため。
- ・ 新しい商品が見れた。
- ・ コロナでしばらく展示会に行けず、久しぶりのリアル展示会だった。
- ・ いろいろな機器を見ることができた。
- ・ 排泄、入浴、余暇活動に使用できそうなため。
- ・ 様々なアプローチで支援にあたる方法があった為、特色に合った機器を選ぶことができた。
- ・ 会話が楽しくできるコミュニケーションロボットの役割を望みます。
- ・ 新しいロボットが見れて、大変勉強になりました。
- ・ 実物を見ることができて解りやすい。
- ・ センサー。
- ・ 教科書でしか見たことがなかったので、見れてよかった。

- ・パンフレットでしか見たことのない機器の実物がわかったから。
- ・同じような機器にも複数種類があって、メリットを比べやすかったから。
- ・ポータブルトイレ。臭いも出ずに使用できるからすごいと思った。
- ・知らなかった機器がたくさんありました。
- ・移乗と立位が可能かと思えるものがあります。
- ・狭い場所でも安全安楽なので使える。
- ・近所で見られてよかった。
- ・これからの介護業務で、移乗時の腰への負担を軽減できるもの、参考になった。
- ・たのしかった。
- ・介護の技術を学びたいから。
- ・介護の技術など学びたいから。
- ・介護ロボットの展示会にはじめて来ました。教科書で学ぶのと違い、実際に見学すると具体的にわかる。
- ・介護者の負担軽減、作業時間の短縮が実際に可能だと感じられた。
- ・介護ロボットの種類、進化についてよくわかった。
- ・災害時の排泄などの時も、袋が密閉されることでニオイや漏れなどが無く使用できるので便利だと思った。ポータブルトイレ。
- ・体動、寝起き時の反応が早い。
- ・実際に使われている場面を見られたから。
- ・使われているところをはじめて見られた。
- ・いつか職員になったら、介助する時必要になると思います。
- ・最新の福祉用具が見られてよかった。
- ・おむつモニターmini、小さな機器でおむつの中が判るのは素晴らしいと思いました。
- ・実物を見て体験できた。
- ・ポータブルトイレのニオイの問題を（解決でき）すごかった。使いやすい。
- ・コミュニケーションロボットが気になったため。
- ・ポータブルトイレが気になった。ラップのためニオイなどが無いから。
- ・体験できて良かったです。
- ・仕事だけでなく、在宅でも使用できそうな物がみれたので。
- ・福祉機器の導入によって、ケアの幅が広がることを実感できた。Hug
- ・介護をするうえで腰が痛くなりやすいので、介護ロボットを使えばラクになったり業務がはかどると思った。
- ・施設にあれば、仕事が楽になる。身体への負担が少ない。
- ・勉強になった。
- ・勉強になった。
- ・いろいろな機器が見れ、聞けた。
- ・普段見ることができない分野だった。
- ・実物が見られて良かったです。
- ・いろいろなセンサーがあることが分かりました。

- ・具体的な話を直接聞いた。
- ・最新の機器が多くみられて勉強になった。
- ・実際にためすことができて分かりやすかった。映像が分かりやすかった。
- ・最新の福祉機器を見ることができ、今後の参考になりました。
- ・多種類があり、最新の物を体験させていただいた。
- ・同じものでも複数の展示があった。
- ・目的に合った展示品であった。
- ・こんな開発が進んでいて、未来に希望を見た気がします。
- ・第2会場の感染対策用自動ラップに興味ありました。
- ・実際に商品を見られるのは有難いです。
- ・複数の機器が同時に見れて参考になった。
- ・今後の検討材料になる。
- ・実際に体験ができたので。
- ・体験ができた。
- ・実際に機器に触れられて良かったです。

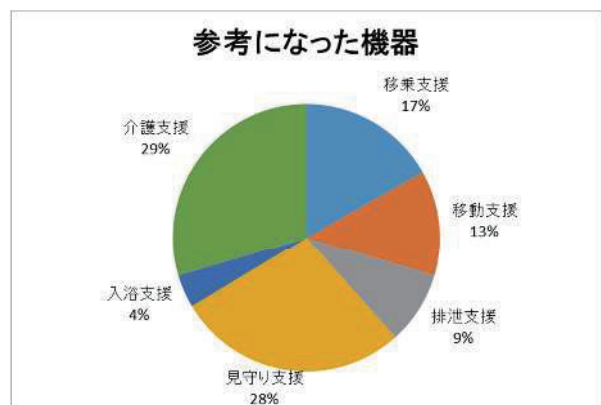
□どちらとも言えない理由

- ・買えないから。
- ・買うのは迷った。
- ・まだ必要性を感じないので参考等には比較を論じられない。

○質問6 具体的に参考になった機器がありましたらご記入ください。

※具体名称や分野での回答が混在したため、分野で整理し集計しています。

・ 移乗支援	21 人
・ 移動支援	16 人
・ 排泄支援	11 人
・ 見守り・コミュニケーション	35 人
・ 入浴支援	5 人
・ 介護業務支援	37 人



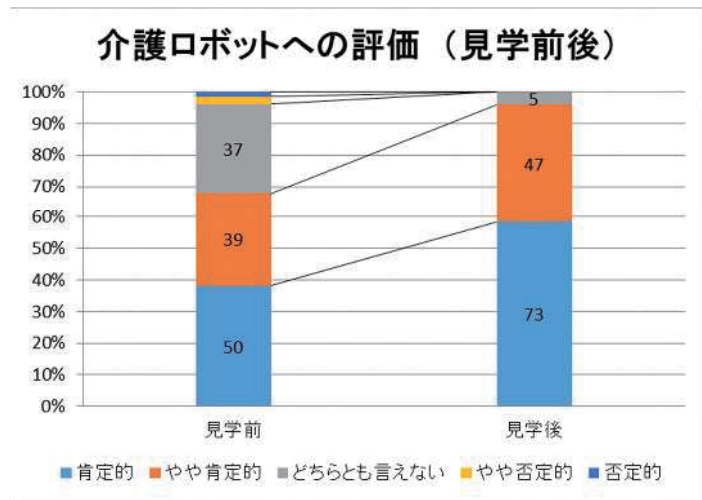
○質問7 介護ロボット・ICT 機器について見学前と後の評価をお教えてください

□見学前

- ・肯定的 50人
- ・やや肯定的 39人
- ・どちらとも言えない 37人
- ・やや否定的 3人
- ・否定的 2人

□受講後

- ・肯定的 73人
- ・やや肯定的 47人
- ・どちらとも言えない 5人
- ・やや否定的 0人
- ・否定的 0人



○質問8 介護ロボット・ICT 機器について、または導入や利用についてのご意見（自由記載）

- ・積極的に導入したい
- ・意外と面白い。実際に体験して知ることは重要だと思う
- ・今後の発展が楽しみ
- ・導入したい。あとは予算と相談。
- ・支援の充実
- ・導入によってスタッフの軽減、ケアの充実につなげたい
- ・価格が高い
- ・初期費用に不安
- ・最新の機器に触れてとても勉強になった
- ・一般の人間にも導入可能なものが多くとても身近に感じた
- ・見学できてよかった。ありがとうございました。
- ・簡単かつ使いやすいものを導入したい
- ・利用者への支援拡大
- ・活躍の幅を広げてほしい。使いやすさと安全性を重視してほしい。
- ・新しい機器の開発に驚いた。職員の負担軽減につながるとよい。導入前と後と比較することが大切だと思う。
- ・自分にあったものがあれば利用したい。この催しをまたやってほしい。訪問介護で利用可能なロボットを開発してほしい。一つでもいいから各施設に取り入れてほしい。
- ・今後いろいろと考えたい。
- ・両者の未来が明るくなる製品の開発に期待。内容には感動した。
- ・介助者の負担や利用者の危険を減らせる機器がたくさんあってよい
- ・入る施設に新しい技術の機械があるとよい
- ・大変参考になりました
- ・介助者なしで操作できるものも見てみたい

- ・今後施設にて働くようになってからの参考になった
- ・利用度や購入金額、利用場所など様々に折り合いがつけばどんどん利用したい。ICT 機器の導入で利用者だけでなく介護者の負担も減らせると思う。
- ・チャピットかわいかった
- ・大掛かりではなくコンパクトになっているので在宅でも利用しやすくなってきていると思う。普及を推進してほしい。
- ・介護ロボの導入はどちらにとっても負担が少なくなるが残存能力や自立支援の視点から考えると誰もが正しく使用できるかどうか難しいと思う。
- ・これから働く施設にあつたらいいと思う。
- ・就職して機械があれば使用したい。
- ・2人でやるのが1人でできるので楽になる
- ・今後導入を検討したい
- ・一般家庭では価格的に難しい
- ・介護者の負担を減らしたい。小型で動かしやすいものが欲しい。
- ・おむつのモニターが使いやすそうだった。機会が訪れたら検討したいものばかりだった。
- ・保険が使えるが価格面に難あり
- ・移乗系のロボットはぜひ使いたい。
- ・まだ必要性を感じないが、今後検討したい
- ・うまく使うと業務改善に活かそう
- ・まだ今のところ自分でできる。
- ・ICT は検討しています
- ・在宅で活用できる機器が増えるとうれしい
- ・デモで使えるメーカーが多くて導入の検討材料として有効だった
- ・様々な機器を見て説明を聞いて良かった
- ・福専の知識と合わせて今後の利用に活かしたい
- ・導入の流れについてもっと詳しい解説をしてほしい
- ・スタッフの効率化、リスク回避、利用者家族への満足度と安心
- ・ランニングコスト（※修理費、整備費など）が気になる
- ・コミュニケーションロボットの価格が気になる
- ・介護には必要だと思う
- ・今後導入していきたい
- ・利用者職員双方にとって有用な機器を導入したい
- ・行政の協力が必要だと思う

(2) 茨城県

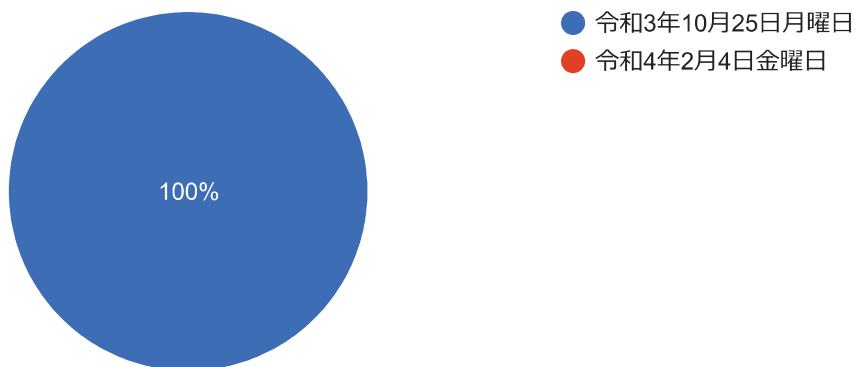
茨城介護ロボット地域フォーラムアンケート

20 件の回答

[分析を公開](#)

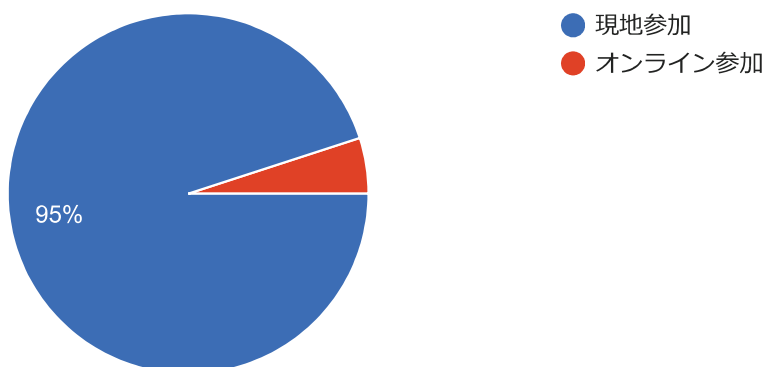
何日のシンポジウムに参加されましたか

20 件の回答



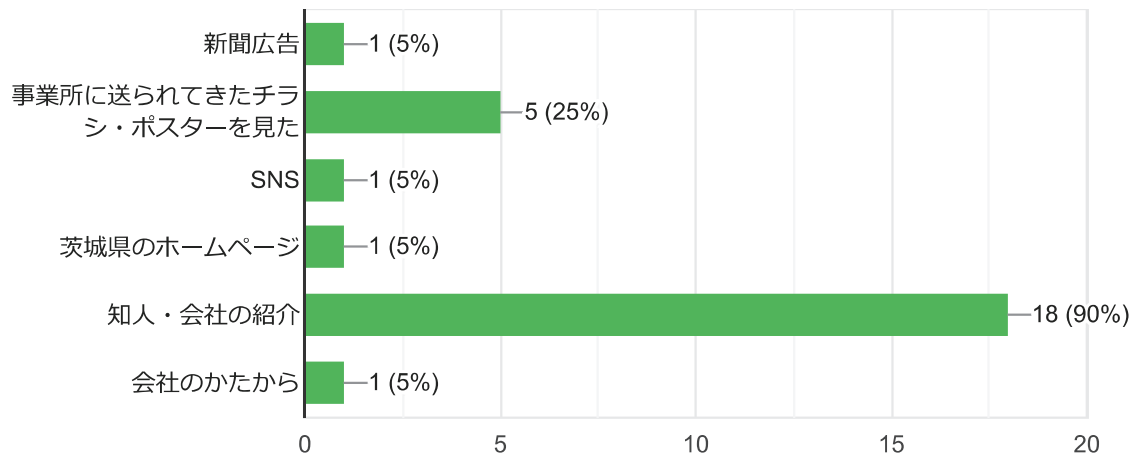
どのような形で本シンポジウムに参加されましたか

20 件の回答



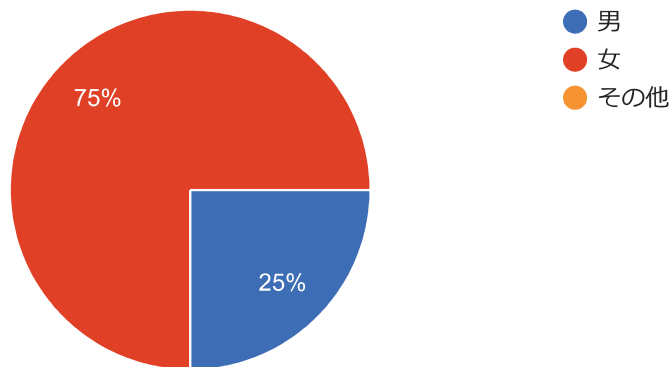
本事業を知ったきっかけをお教えてください ※複数可

20件の回答



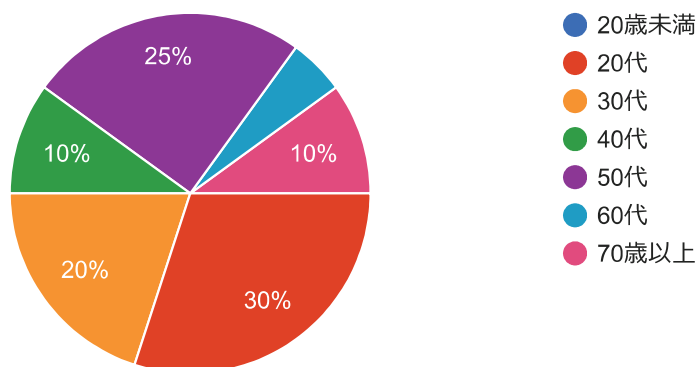
性別

20件の回答



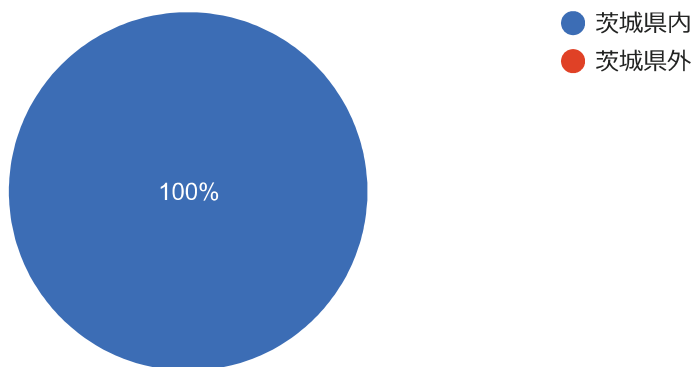
年齢

20件の回答



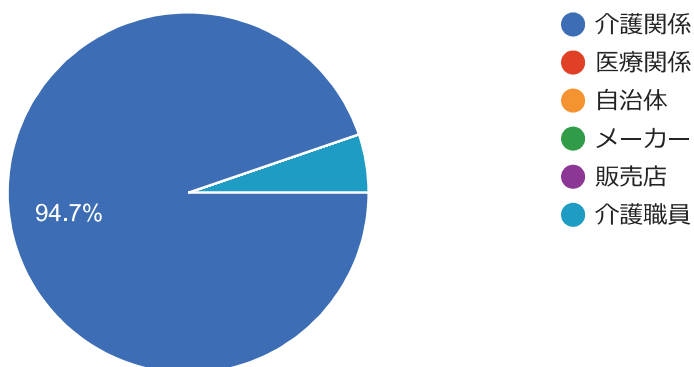
お住まいの地域

20 件の回答



勤務先

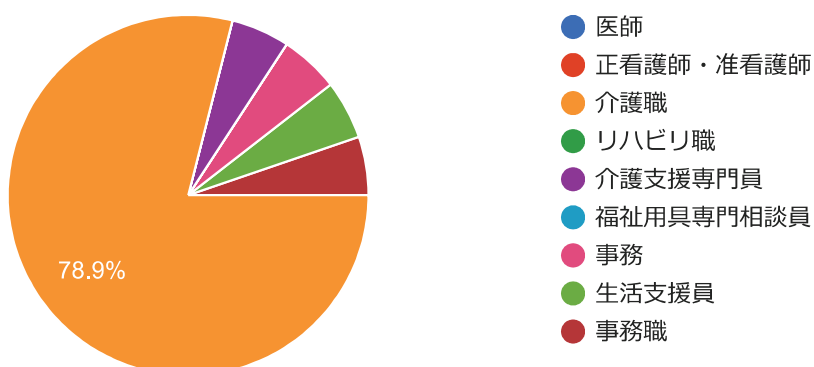
19 件の回答



職種

あなたの職種についてご回答ください

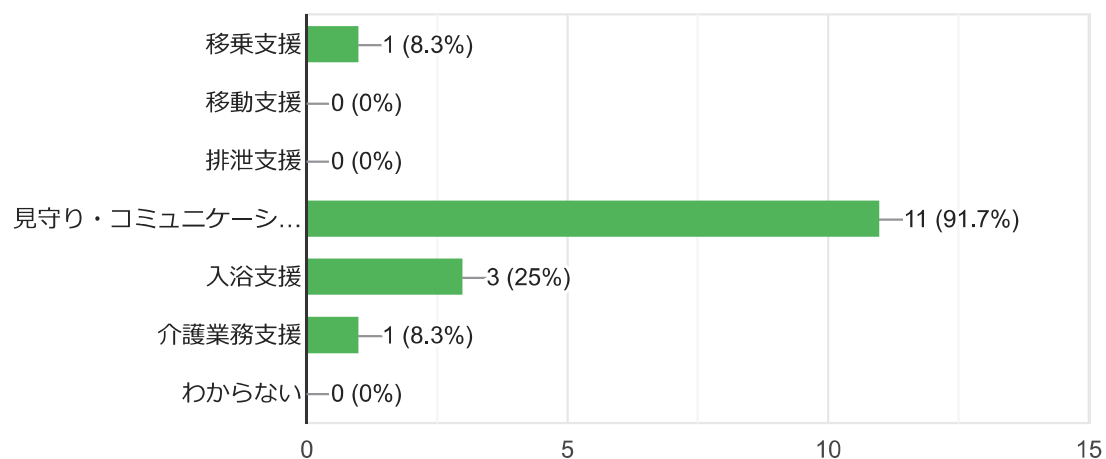
19 件の回答



導入済みのロボットについて

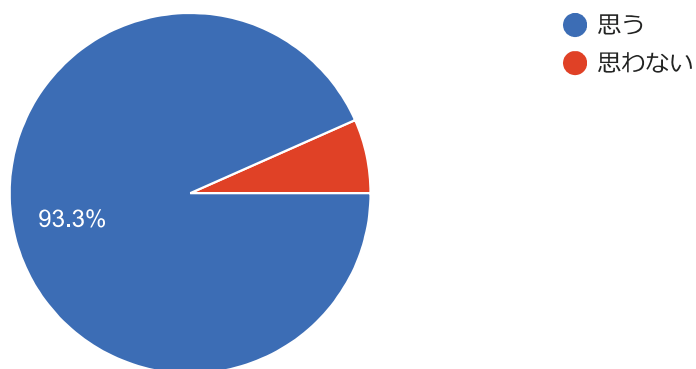
あなたの事業所ではどのような介護ロボットを導入していますか ※複数可

12件の回答



介護ロボットを導入したいと思いましたが ※すでに導入されている方もご回答ください

15件の回答

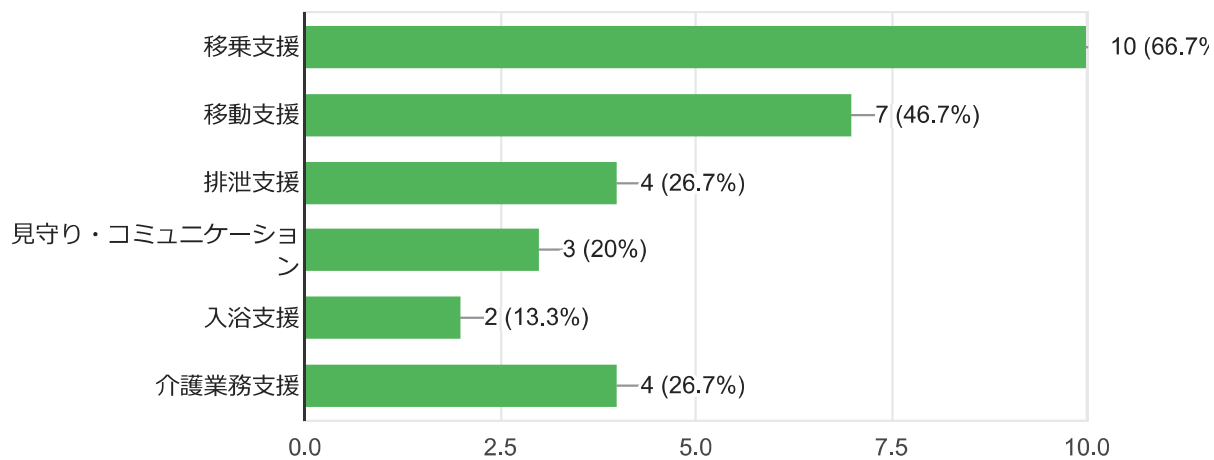


導入してみたいロボットについて



どのような介護ロボットを導入してみたいと思われましたか ※複数可

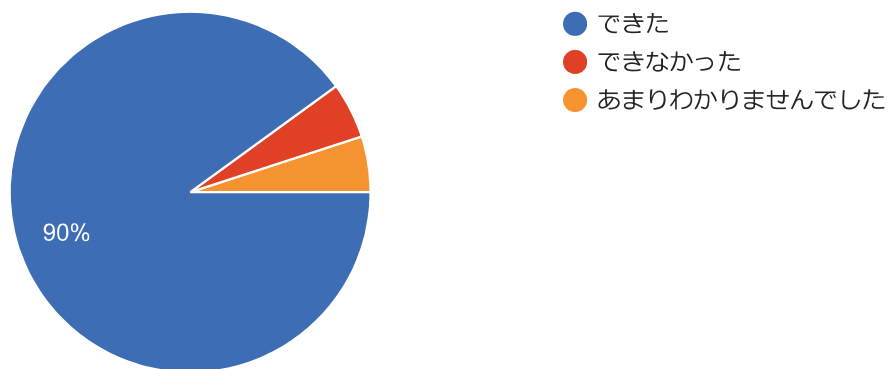
15件の回答



シンポジウムの内容について

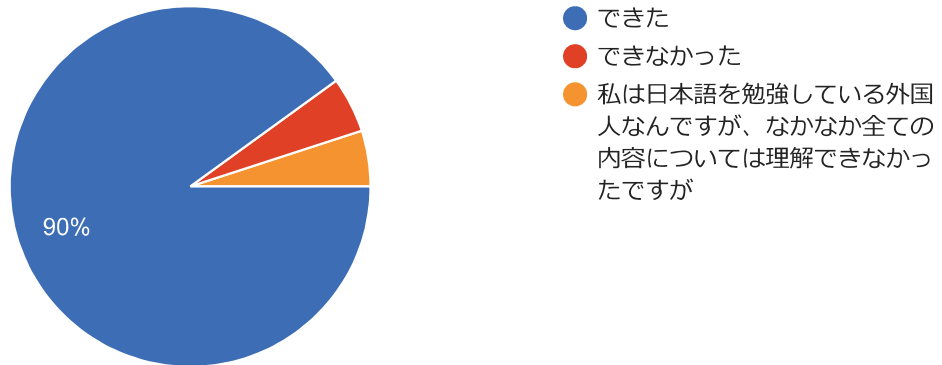
講演「福祉用具・介護ロボットにおける開発・普及の動向」の内容について理解できましたか

20件の回答



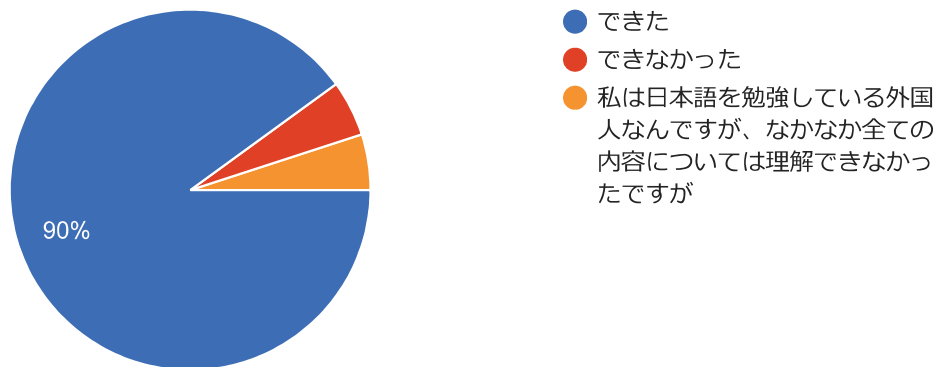
講演「茨城県における介護ロボットの推進」の内容について理解できましたか

20 件の回答



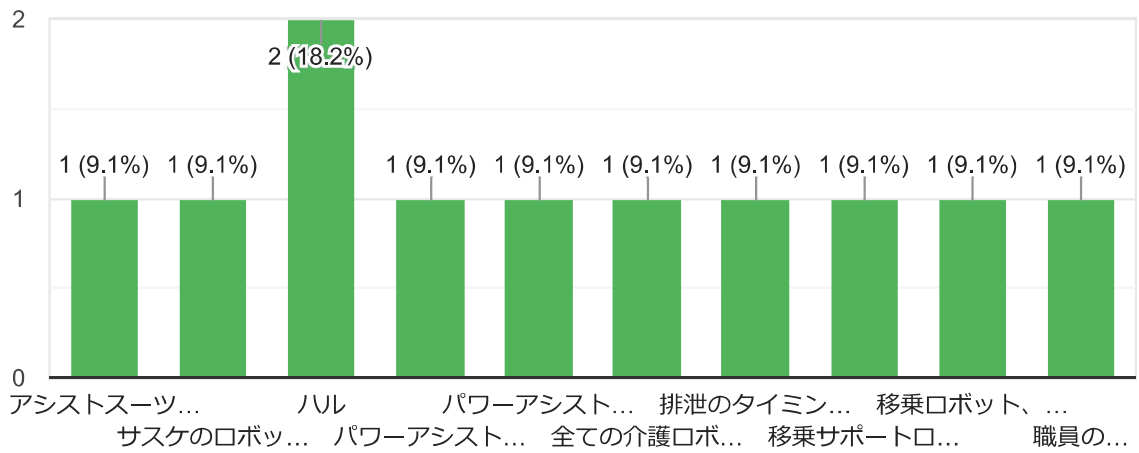
「介護ロボット展示・体験」について介護ロボットへの理解を深めることができましたか

20 件の回答



展示されていた介護ロボットの中で興味を持たれた機種をご回答ください

11件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム





第二回介護ロボット地域フォーラムアンケート

質問 回答 25 設定

25 件の回答



回答を受付中



概要

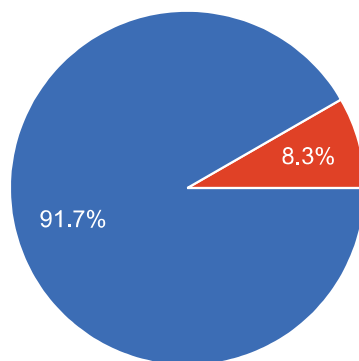
質問

個別

どのような形で本シンポジウムに参加されましたか



24 件の回答

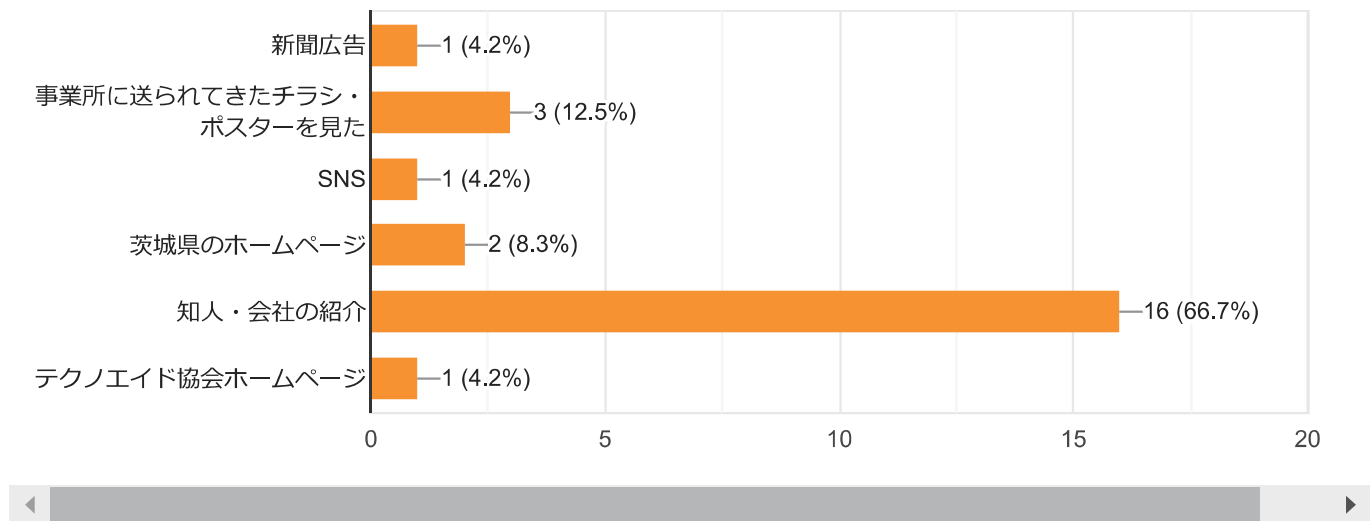


● 現地参加

● オンライン参加

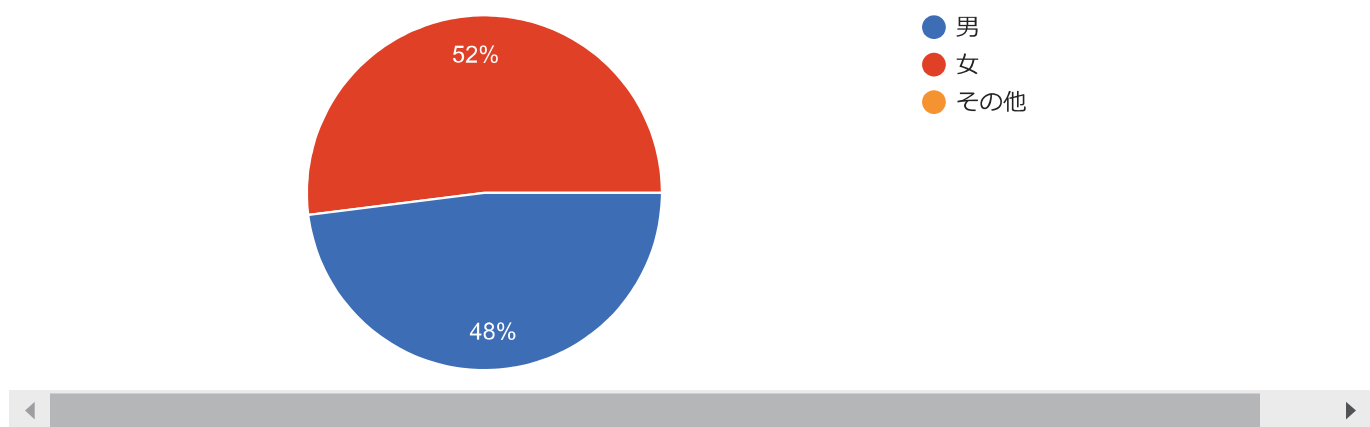
本事業を知ったきっかけをお教えてください ※複数可

24 件の回答



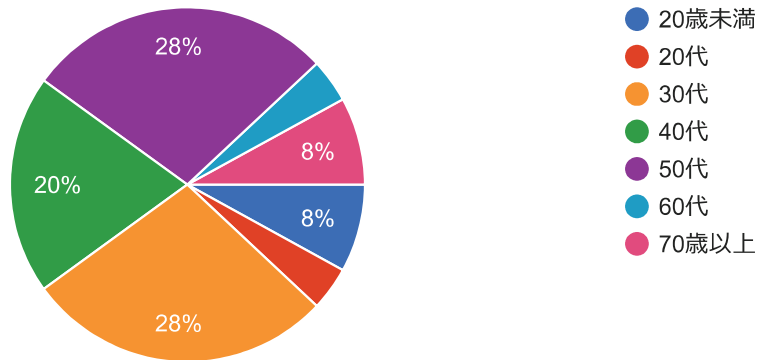
性別

25 件の回答



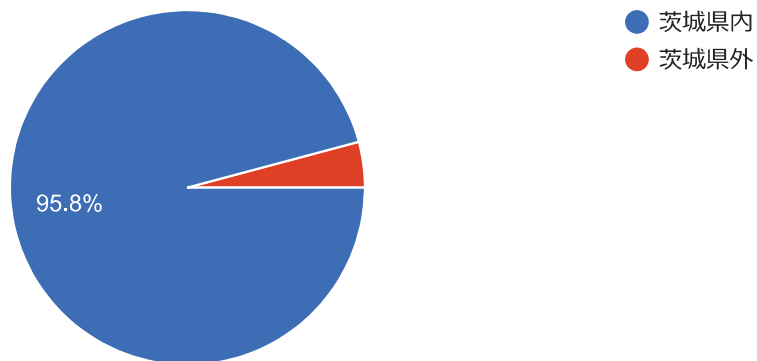
年齢

25 件の回答



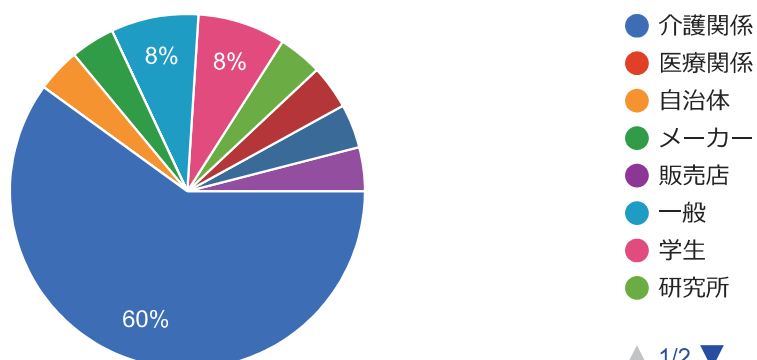
お住まいの地域

24 件の回答



勤務先

25 件の回答

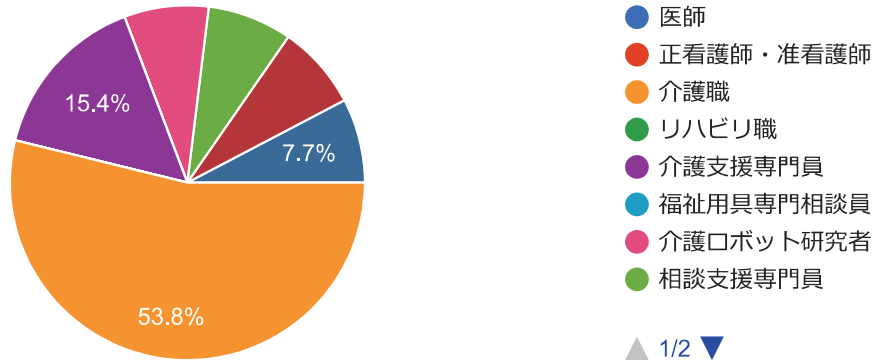


▲ 1/2 ▼

職種

あなたの職種についてご回答ください

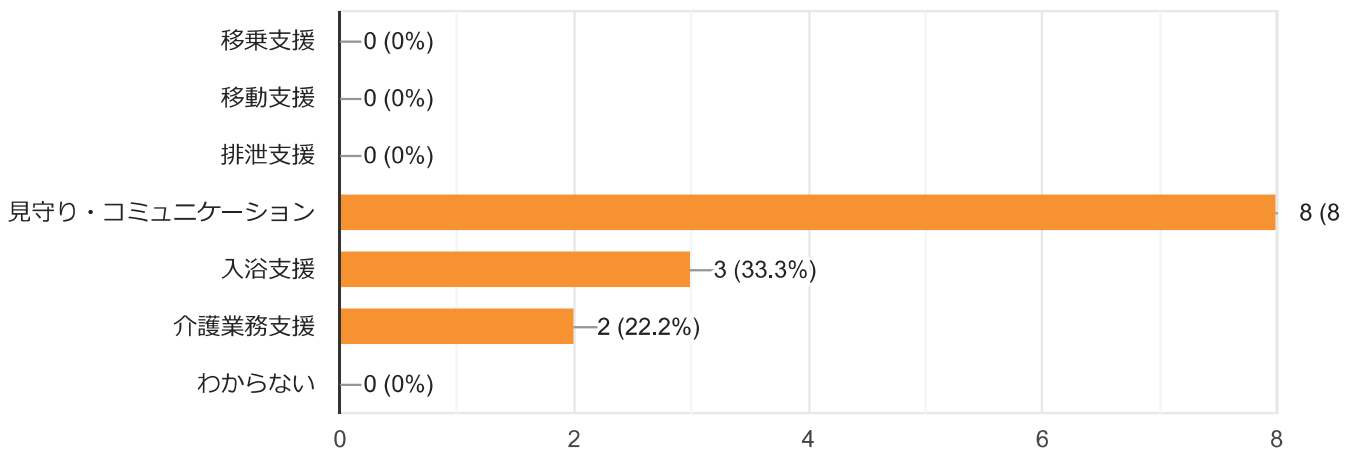
13件の回答



導入済みのロボットについて

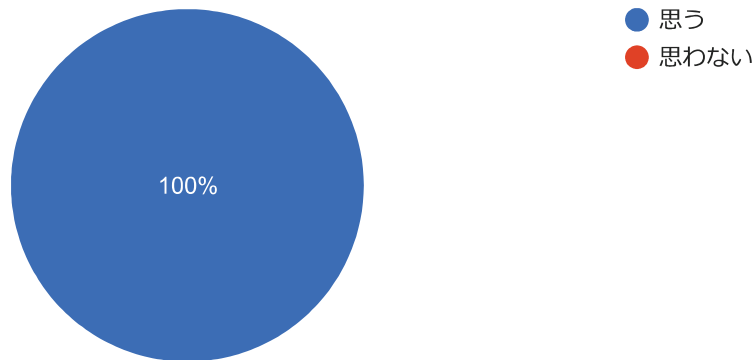
あなたの事業所ではどのような介護ロボットを導入していますか ※複数可

9件の回答



介護ロボットを導入したいと思いましたが ※すでに導入されている方もご回答ください

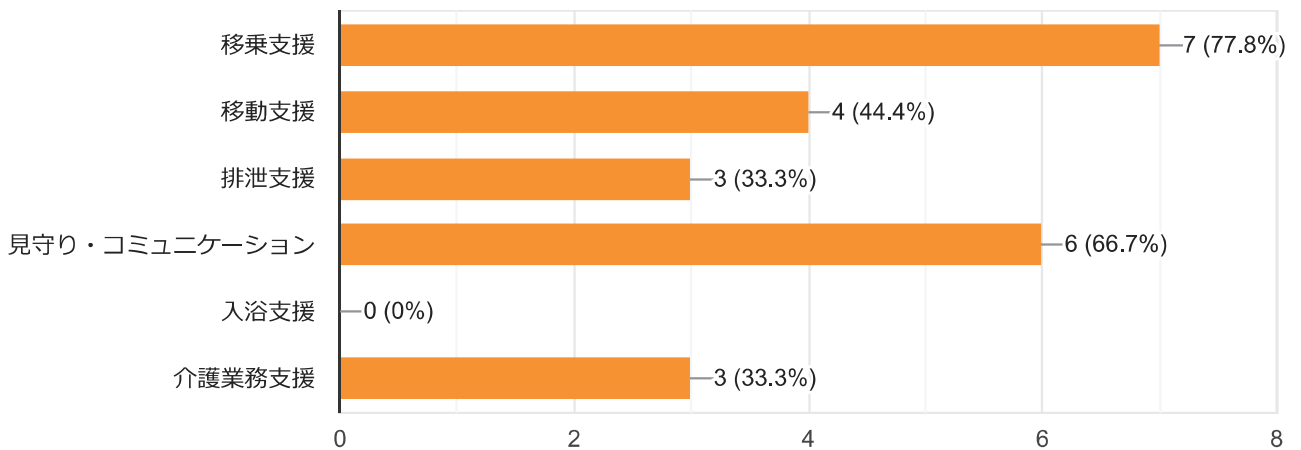
13 件の回答



導入してみたいロボットについて

どのような介護ロボットを導入してみたいと思いましたが ※複数可

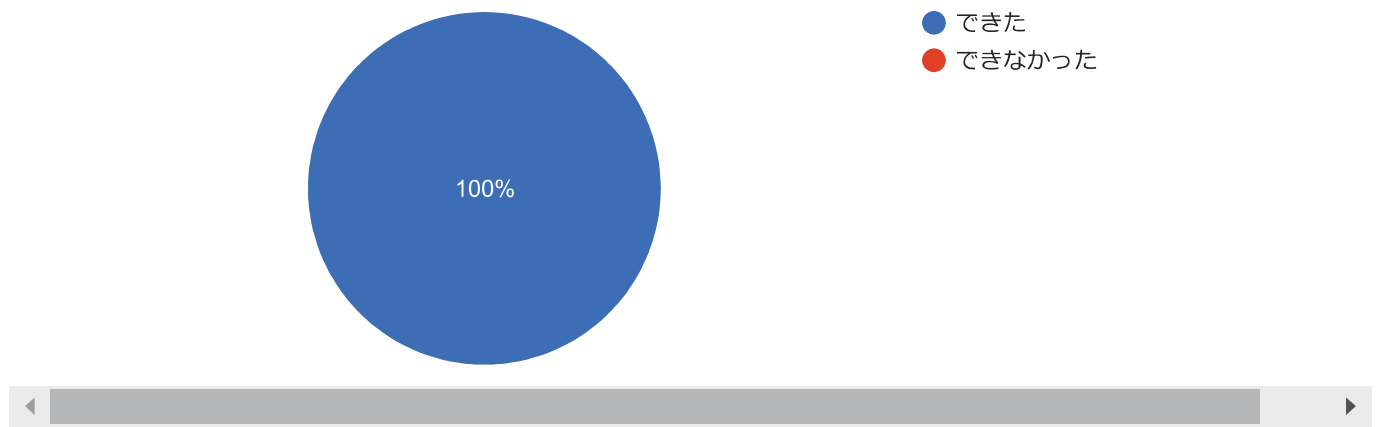
9 件の回答



シンポジウムの内容について

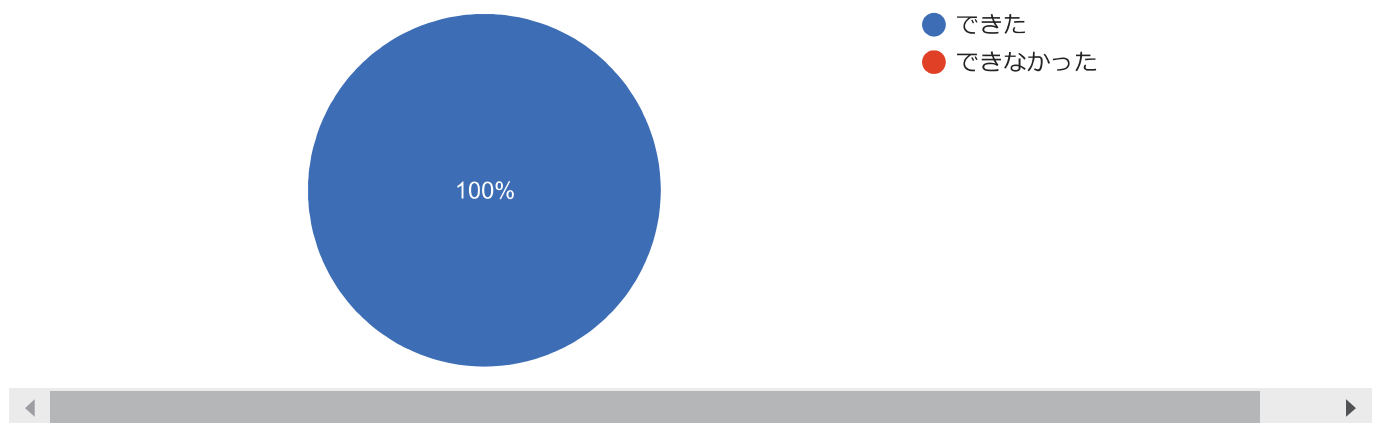
講演「福祉用具・介護ロボットにおける開発・普及の動向」の内容について理解できましたか

11件の回答



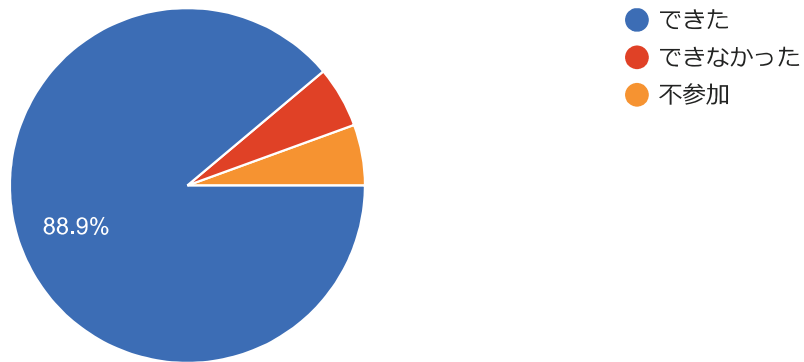
講演「茨城県における介護ロボットの推進」の内容について理解できましたか

11件の回答



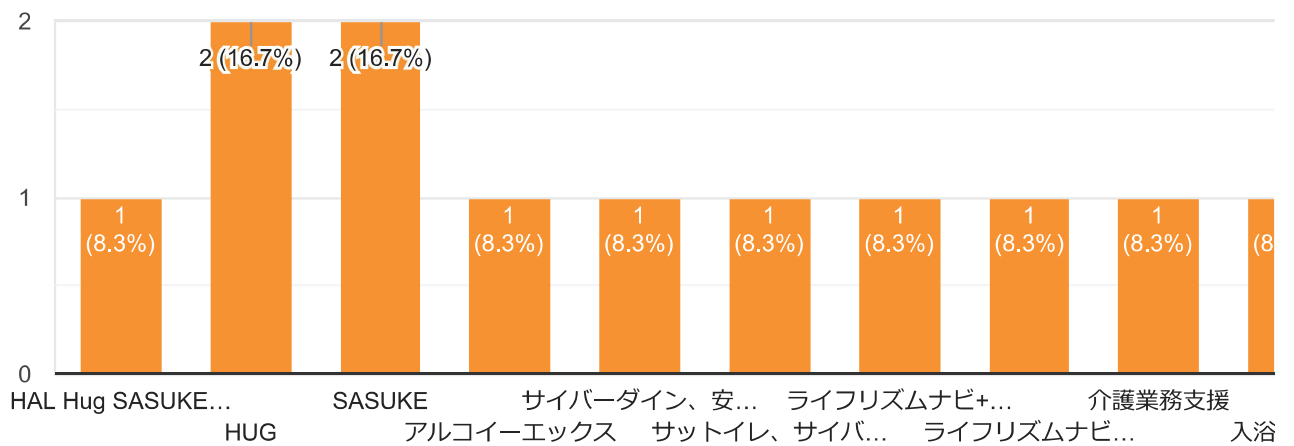
「介護ロボット展示・体験」について介護ロボットへの理解を深めることができましたか

18 件の回答



展示されていた介護ロボットの中で興味を持たれた機種をご回答ください

12 件の回答



(3) 石川県実施内容

実施内容及び参加人数

コロナウィルスオミクロン株の感染拡大が心配されるなかでの開催となりました。
会場での出展企業、来場者ともに十分な感染対策をおこなった上で実施致しました。

来場者数は112名、オンライン閲覧が86件でした。

オンライン放送した内容を後日、期間限定でネットから視聴できるようにすることで当日来場・オンライン閲覧できなかった方へも情報発信できるシステムを整えます。

シンポジウムとして下記の演題でご講演いただきました。

- ・石川県の介護ロボット導入支援の取組み紹介
石川県健康福祉部 長寿社会課長 奥泉元 氏
- ・介護ロボット導入事例
社会医療法人財団董仙会 本部長 進藤浩美 氏
- ・展示参加各企業によるオンラインセミナー

実施による成果

112名の来場者を迎え、介護施設職員の方やリハビリ職の方、一般来場の個人の方への実機による介護ロボットの紹介と実際の体験をしていただくことにより現場で介護ロボットを使う方々への周知を図ることができました。

また、実際に販売営業にあたる福祉用具取扱業者の方の介護ロボットへの理解が深まった事で今後積極的に県内での施設へのアプローチが進んでいくと考えられます。

(4) 静岡県

6. アンケート集計結果

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種をお答えください。

①性別

No.	項目	回答数	割合
1	男性	19	82.6%
2	女性	4	17.4%
3	その他	0	0%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

②年齢

No.	項目	回答数	割合
1	10歳未満	0	0%
2	10代	0	0%
3	20代	2	8.7%
4	30代	3	13.1%
5	40代	9	39.1%
6	50代	3	13.1%
7	60代	5	21.7%
8	70代	1	4.3%
9	80代	0	0%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

③地域

No.	項目	回答数	割合
1	県内	21	91.3%
2	県外	1	4.3%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

④勤務先

No.	項目	回答数	割合
1	介護関係	19	82.6%
2	医療関係	0	0%
3	自治体	0	0%
4	メーカー	1	4.3%
5	販売代理店	0	0%
6	その他	3	13.1%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

その他の記載内容（自由記述）

金融機関	1
社会福祉協議会	1

⑤職種

No.	項目	回答数	割合
1	医師	0	0%
2	看護師	0	0%
3	准看護師	0	0%
4	理学療法士	0	0%
5	作業療法士	0	0%
6	言語聴覚士	0	0%
7	介護支援専門員	3	15.8%
8	介護福祉士	3	15.8%
9	福祉用具専門相談員	0	0%
10	その他介護職員	1	5.3%
11	その他	12	63.2%
	無回答	0	0%
	計	19	100.0

その他の記載内容（自由記述）

柔道整復師	1
管理職員	3
施設長	2

2. シンポジウムの内容は参考になりましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	参考になった	16	69.6%
2	参考にならなかった	0	0%
3	どちらともいえない	3	13.1%
4	シンポジウムをみていない	3	13.1%
	無回答	1	4.3%
	計	23	100.0%

選択No.	理由
1	介護現場に身近なものが多かった。
1	シルヴァーウィングの石川理事長の話は、施設の考え方が反映しており、勉強になりました。
1	新技術に接することができました。
1	展示を見たうえで、その実証試験をどう動かしていくか、具体的にイメージできました。
3	時間が少なかった。

3	静岡県の説明が、WEBであったため、音が反響して聞き取りにくかった。
3	同じ会場で機器展をやっている騒がしかった。
3	補助金を使い少しでも導入していきたい。

3. 介護ロボット・福祉機器の紹介、実演の内容は参考になりましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	参考になった	19	82.6%
2	参考にならなかった	0	0%
3	どちらともいえない	3	13.1%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

選択No.	理由
1	体験型の説明が参考になった。
1	丁寧でした。
1	導入を検討している機器を実際にみて、体験することができた。
1	実際に使用できた。
3	今回、シンポジウムに参加目的で来場した。
3	導入済みの機器もあり、展示台数が多い方がよい。

4. 展示機器の台数はどうでしたか。

No.	項目	回答数	割合
1	多いと感じた	1	4.3%
2	今回くらいでよい	12	52.2%
3	少ないと感じた	9	39.1%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

5. 展示機器の中で興味のあるものはありましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	あった	18	78.3%
2	なかった	2	8.7%
	無回答	3	13.1%
計		23	100.0%

興味があった機器

ベルメディカルケア(株)	Hug L1	6
(株)ブルーオーシャンシステム	ブルーオーシャンノート	3
コニカミノルタ(株)	HitomeQ ケアサポート	1
(株)ジェイテクト	パワーアシストスーツ J-PAS fairy	3
(株)サイチ	見守り花子	1
ミネベアミツミ(株)	ベッドセンサーシステム	1
エコナビスタ(株)	ライフリズムナビ+Dr	2

マッスル(株)	ROBOHELPER SASUKE	3
(株)ケアコネクトジャパン	ケアカルテ	2
N&F テクノサービス(株)	ネオスケア	2
(株)メディカルプロジェクト	シッタープロ	1
(株) iSEED	パルモ	1

6. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があればご自由におかきください。

1	様々な機器を体験できたので、参考になった。
---	-----------------------

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。

7. 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか。

No.	項目	回答数	割合
1	導入している	6	31.6%
2	導入していない	8	42.1%
	無回答	5	26.3%
		19	100.0%

8. 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか。

No.	項目	回答数
1	移乗介助（装着型）	1
2	移乗介助（非装着型）	2
3	移動支援（屋外）	0
4	移動支援（屋内）	0
5	移動支援（その他）	0
6	排泄支援	0
7	排泄予測	0
8	排泄支援（動作）	0
9	見守り（介護施設）	5
10	見守り（在宅）	1
11	コミュニケーション	1
12	入浴支援	0
13	介護業務支援	2
14	その他	0

9. あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。

No.	項目	回答数	割合
1	思う	7	87.5%
2	思わない	0	0%
3	どちらともいえない	1	12.5%
		8	100.0%

1	補助金を活用できる。
1	介護者、利用者の安心と負担軽減につながると考える。

1	介護を要する人が増えてきているため。
3	設備投資に不安がある。

10. 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか。

No.	項目	回答数	割合
1	思う	9	47.4%
2	思わない	1	5.3%
3	どちらともいえない	3	15.8%
	無回答	6	31.6%
		19	100.0%

1	半導体不足による欠品。
1	介護職不足。

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレットなど入れてください。)

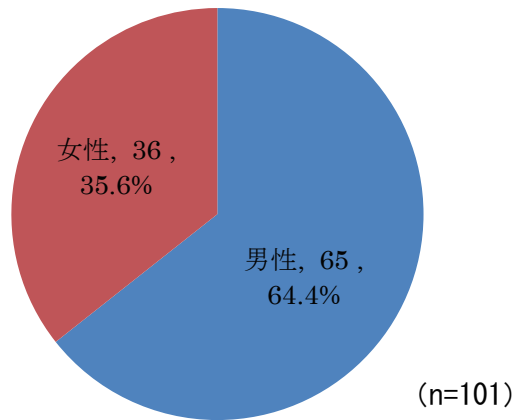
※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

(5) 長崎県

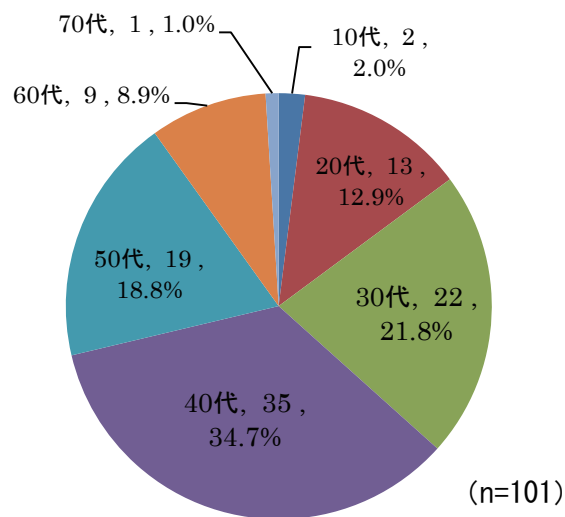
⑦ アンケート集計結果

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種についてお答えください。

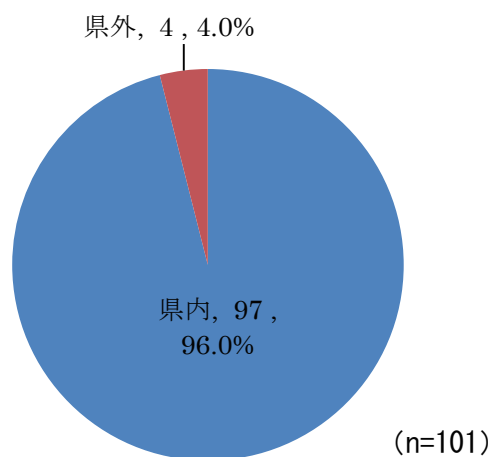
① 性別 (単一回答、n=101)



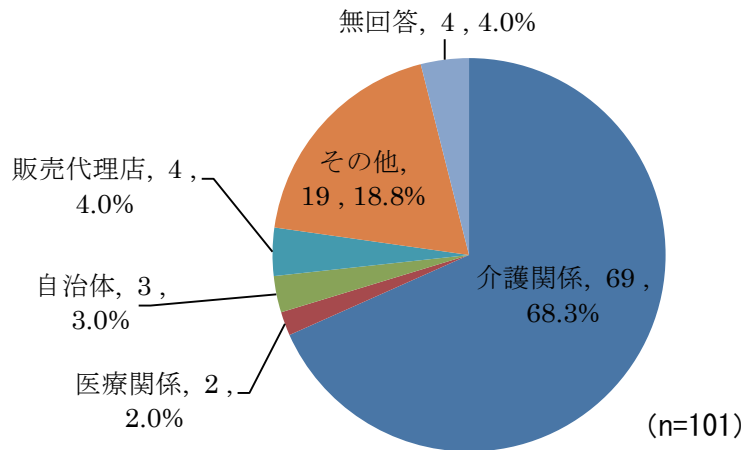
② 年齢 (単一回答、n=101)



③ 地域 (単一回答、n=101)



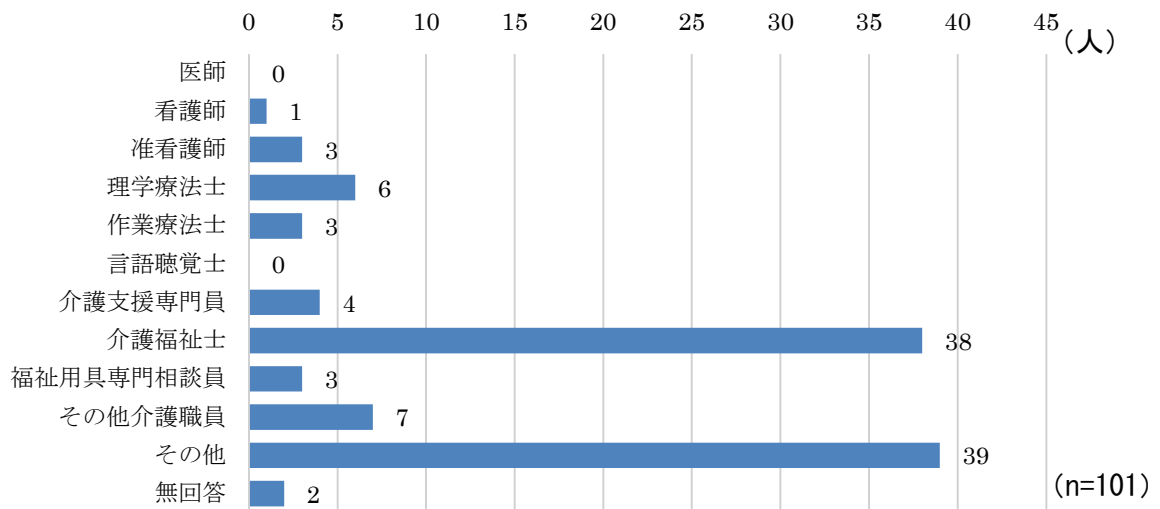
④ 勤務先（単一回答、n=101）



（その他の職業）

- ・ 法人保健施設
- ・ 介護教員
- ・ 学生

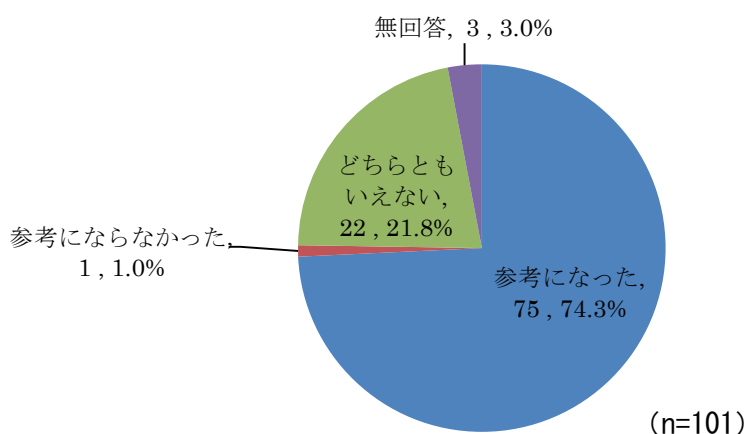
⑤ 職種（複数回答、n=101）



（その他の職種）

- ・ 医薬品卸
- ・ 営業職
- ・ 管理者
- ・ 建築士
- ・ 施設経営者
- ・ 施設長
- ・ 総務
- ・ 事務
- ・ 事務長補佐
- ・ 専門学生

⑥ フォーラムの内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=101)

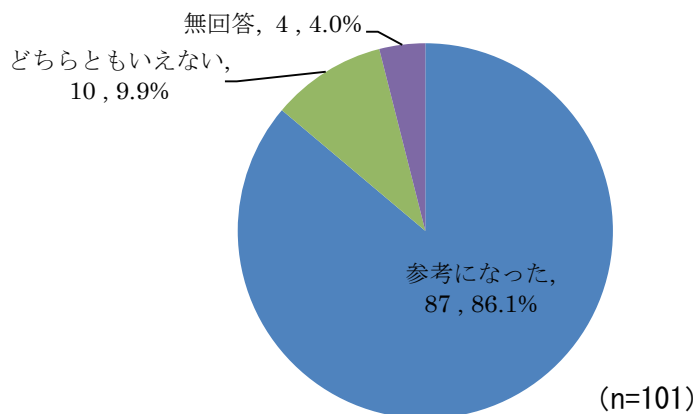


(理由・感想)

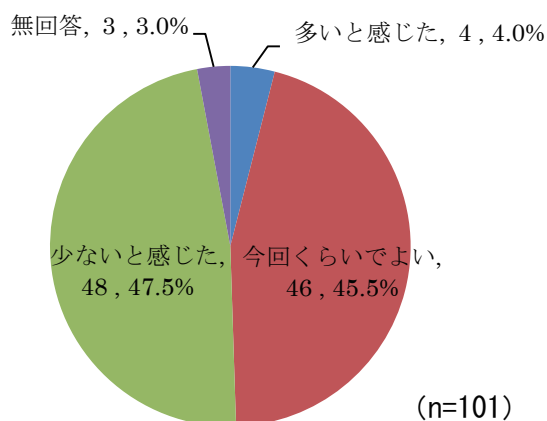
ICT・介護ロボットの良い点、失敗例等が聞けて良かった。
neos+care は、腰痛予防に役立ちそうです。
新しい製品情報や導入された施設の体験が聞けたこと。
介護現場で実際、利用されている事例がわかりやすかった。
介護者の負担軽減に機器の促進が不可欠と考えている。
介護ロボットの位置づけがわかった。
機器の体験ができて良かった。
グループホームでの必要性を感じている為、参加しました。参考にさせていただきます。
現状に照らし合わせて利用可能なものなどを知ることが出来ました。
県の導入効果の集計、特になごみ会の導入事例の説明が私たちの事業所でも活用できる内容だったのでとても参考になりました。また使いこなせなかった導入事例も今後の参考になりました。
五島でのノーティスには以前から興味があって特に文章入力（音声入力）の話、高齢の職員への適応など聞きたいところが聞けた。実際使用している現場を見て見たい。
コミュニケーションロボット 今後、必ず必要になってくると思う
今後の介護に支援できるのではないかと思った。（参考になるのでは）
再確認ができた
様々な新しいロボットを知れてよかったです。
実機が見られたこと、他の施設の利用について参考になった。
実際に ICT を導入している事業所の事例を知ることができた。
実際に介護ロボットに触れて良かったです。
実際に現場で使用してみた声を聞くことができ大変参考になった。
実際にデモ機に触れたり、体験できた。
実際に導入の状況などを聞くことができた。
実際に取り組まれている事例を聞けて良かった。
実際に働く上で知っておく事は大切だと思っていたので知ることが出来て良かったと思いました。利用者様や職員への負担軽減のため色々考えられて開発されているのだと感じました。
実際の現場の話を知ることができた。
実際の福祉用具を体験できた。
自分が知らない機能を活用した機械がいっぱいあったし、介護者の負担を減らすという考えが自分になかったがここでそういう機能がある機械に出会えて少し興味をもった。

シャワーオールは、介助者、利用者の負担が軽減され便利だと思った。
使用してみたいものがいくつかあった。
知りたい情報を得られなかった。
セミナー会場のモニターが小さい。前から4列目でようやく見えた。
体験ができた。
体験を実際にできて良かった。
導入され、実際活用した話を聞けてとても良かった。
導入事例、問題点をもっと聞きたかったです。
特に見守り系のシステムについて、デモを通して理解することが出来ました。
長崎県の介護ロボット・ICTに対する考えを知ることができた。
反省と経過がわかりやすかった。
福祉・介護を取り巻く環境・今後の方向性、取り組むべき課題等が理解できた。
普段の生活の中で意識したことがなかったものがあって視野が広がりました。
プロジェクターを大きめにしていれば見やすかったと思います。
マッスルスーツが以前に比べると使いやすくなっていると思いました。見られて良かったです。
利用者、介護者、ご家族ともに負担軽減になるものがたくさんあり、実際に導入されている所に就職したいと思った。
利用者にあったものがたくさんあってすごく勉強になりました。
ロボット、ICT 機器はすばらしいと思った。

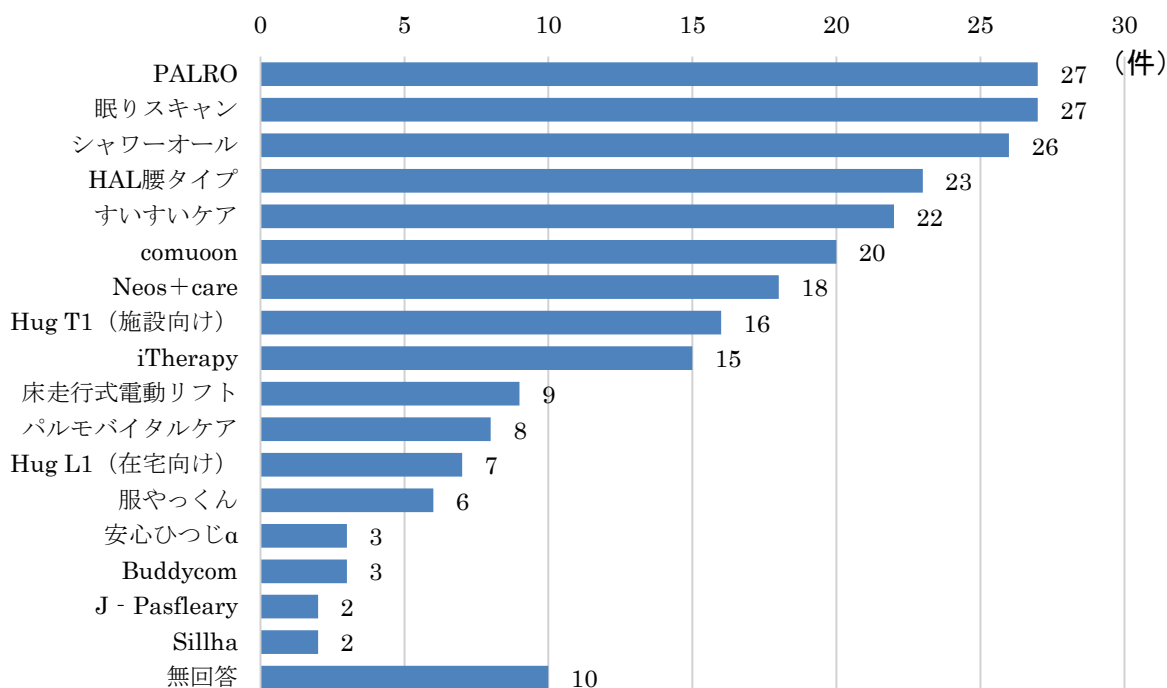
⑦ 介護ロボット・ICT機器の紹介、実演の内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=101)



⑧ 展示機器等の台数はどうでしたか。(単一回答、n=101)



⑨ 展示機器の中で興味のある物はどの機器でしたか。(複数回答、n=101)



⑩ フォーラム及び介護ロボットに対する感想、ご意見等があればご自由にご記入ください。

色々とお触れよかった

色々とお試してみたいと思った。実際使用している施設を見学してみたい。使用してその後を知りたいく対職員、対利用者>

介護スタッフ年齢が上がり、自分の体も守りながらの介護はとても大変です。少しでも楽にできるなら試してみたいと思いますが、施設は購入してくれるだろうか?と思います。

介護ロボットの未来は明るいがまだまだ課題が多い。国、民間が協力して高齢化社会をより良いものにしていかなければと思う。

介護ロボットを使うと力がない人も介助ができると思う。

可能であれば、モニターを大きくするか、プロジェクターでスクリーンなどに映して欲しかったです。又は椅子4列に1台間隔でモニターが欲しかった。前の人の頭でモニターが見づらかったので椅子をジグザクに配置するか、モニターを椅子と椅子の間の位置にするか高さをもう少しつけて欲しかったです。

九州介護ロボット開発・実証・普及促進センターの方の導入をどう進めるのか、誰がどのように...のお話はとても分かりやすかったです。使いう事によって何を求めるのかの理念のような介護者や利用者の方の思いについて考える必要があると思います。

行政や業界が取り組んでいる事、これから進展していくであろう事業等を知ることが出来て良かったと思います。

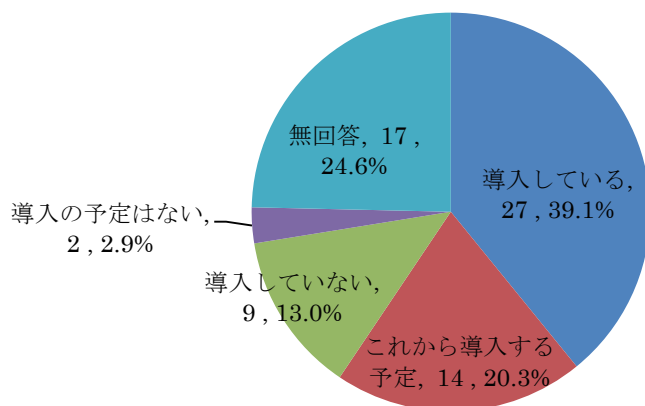
コロナ禍での人材不足や職員負担軽減など実機やメーカーさんも言葉などを聞けて良かったと思います。

実際に触れてみる事が出来て良かったです。

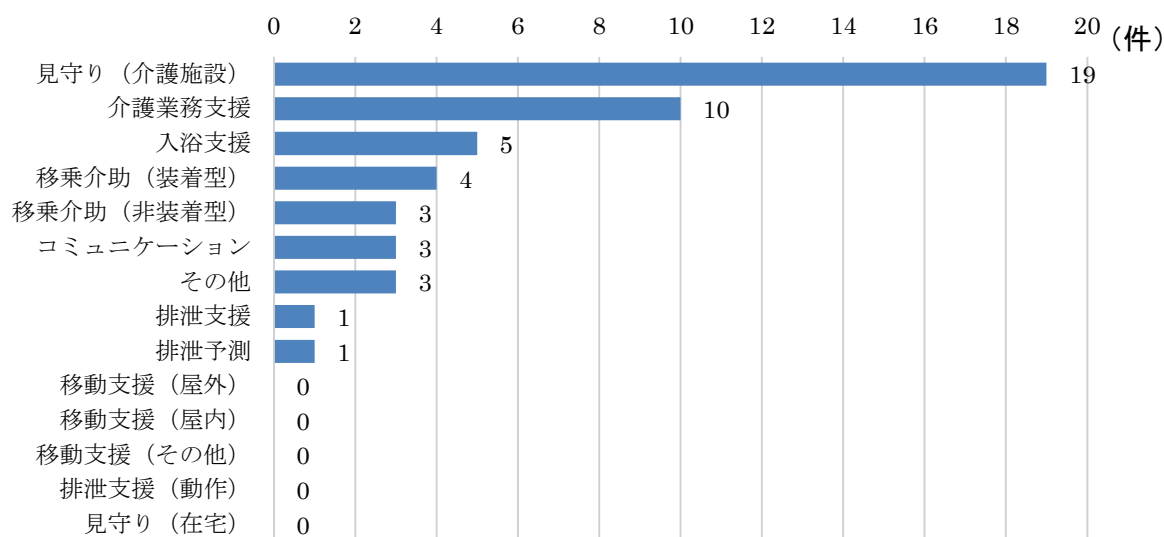
自分が思っていたよりも介護ロボットも人に寄り添うことができたり、ボディメカニクスを最大限生かせるサポートになっていたりと今日こなければ知りえることができなかつたものばかりで勉強になりました。
自分の知らないところを知る機会になってとても良かった。
セミナーの資料を頂きました。
相談先（センター）とお話できて良かった。
大変参考になりました。継続的にフォーラムを今後も開催して欲しい。
展示品の数も丁度よく、じっくり説明を伺うことが出来ました。ロボット助成金の対象になっていると知らなかつたものもあり、大変勉強になりました。
長崎は実際に福祉機器を見たり、体験したりする箇所がない為、このような機会をたくさん作ってほしい。
日本はとても上手です。
フォーラムのモニターがもう少し大きければ・・・。
見守りシステムなど詳しい話を聞けて良かったです。
もう少し多くの機器がみたいと思いました。
もう少し規模が大きいと良かった。講義を聞いたが、椅子が無くて疲れてしまった。
モニターが小さい、見えない。
離島介護施設の取組みなど、実際に現場で活用できたこと、活用できなかったことについて、話を聞くことができ、参考になりました。
私がまだ知らなかつた福祉用具があつてとても勉強になりました。少しでも楽にできるようにといった用具があつたのでとてもいいなと思いました。

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。(n=69)

⑪ あなたの職場では、介護ロボット・ICTを導入していますか。(単一回答、n=69)



⑫ どのようなタイプの介護ロボットを導入又は導入予定ですか。(複数回答、n=41)



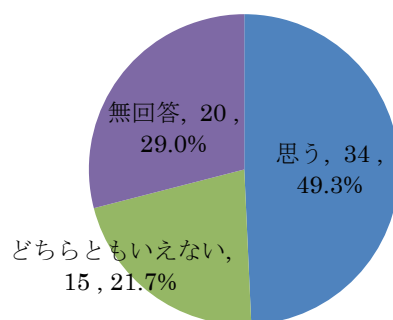
<具体的な機種名>

分類	機種名
見守り (介護施設)	眠りスキャン
	エスパシア
介護業務支援	Notice
	ケアカルテ
	ブルーオーシャン
入浴支援	アダージオ
移乗介助 (非装着型)	床走行式リフト
コミュニケーション	PALRO

<その他>

- ・ ケア記録
- ・ タブレット

⑬ あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。(単一回答、n=69)



<「利用したいと思う」理由>

職員の負担軽減と円滑なコミュニケーションのため。
腰痛の方が多いので腰痛緩和に役立つ商品があれば導入したいと思います。
介助する側が楽になり、事故が起きる可能性が減ると思います。
業務の負担軽減。
質の向上、職員満足度UP、入居者、家族の負担軽減とQOLの向上。
人が足りないからではなく、ロボットにしてほしいと思うことがあると思うので。
業務の効率化のため。
職員の高齢の方が増えてきている為、色々な面での介護ロボットを利用できたらいいなと思いました。
業務上使用した方が良いと思うが装着に人手や時間がかかるものは向かない。
介護者の負担の軽減、質の確保につなげたい。労働力の代わりとして活用。
職員、利用者の身体的、精神的負担軽減になると思うから。
介護スタッフ、ご利用者様のより良いケアにつながるのであれば積極的に利用したい。
職員の負担軽減の為に利用したいと思う。
職員負担を減らすため。
ぜったいあったらよいと思う。
身体への負担は常々感じています。良いものがあれば、試してみたい。
介護をする上で抱え上げや移乗など、体の負担が大きく、仕事自体がきつい、大変なので少しでも軽減できればなと思います。
人手不足の労務量の軽減。
腰痛があるため。
今後、人材不足により職員の手が回らなくなる可能性、利用者により安全、安心して生活してもらえるように。

(6) 山口県

アンケート結果

1 性別		(n=15)	
1	男性	11	73%
2	女性	4	27%

2 年齢		(n=15)	
1	10代	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	3	20.0%
4	40代	6	40.0%
5	50代	2	13.3%
6	60代	4	26.7%
7	70代	0	0.0%
8	80代	0	0.0%

3 地域		(n=15)	
1	山口県内	9	60%
2	県外	6	40%

4 勤務先		(n=15)	
1	介護関係	4	26.7%
2	医療関係	2	13.3%
3	自治体	1	6.7%
4	メーカー	6	40.0%
5	販売代理店	0	0.0%
6	その他	1	6.7%
7	回答しない	1	6.7%

5 職種		(n=15)	
1	医師	0	0.0%
2	看護師	0	0.0%
3	准看護師	0	0.0%
4	理学療法士	4	26.7%
5	作業療法士	0	0.0%
6	言語聴覚士	0	0.0%
7	介護福祉士	1	6.7%
8	介護支援専門員	1	6.7%
9	その他介護職員	0	0.0%
10	福祉用具専門相談員	0	0.0%
11	開発担当者	1	6.7%
12	販売担当者	5	33.3%
13	その他	3	20.0%
14	回答しない	0	0.0%
15	無回答	0	—

6 役職・職位		(n=15)
1	所長	1
2	担当部長	1
3	事務次長	1
4	課長	2
5	介護課長	1
6	主任	3
7	主任主事	1
8	コーディネーター	1
9	リーダー	1

7 シンポジウムの内容は参考になりましたか？		(n=15)	
1	参考になった	12	80.0%
2	参考にならなかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	2	13.3%
4	回答しない	1	6.7%

前問の理由		(n=13)
1	知らなかった商材知識を得たから。	
2	機器の種類や導入事例など具体的な検討材料を得ることができた。	
3	参考になる部分があったが、開発製造メーカーの視点でみて、新鮮な観点がとくになかった。	
4	いろいろな介護ロボットの紹介や次年度の補助金の概要を知ることが出来良かったと思います。	
5	講師の方のお話やメーカーの商品や役所の方が参加され複合的な知識が得られた。	
6	介護ロボット普及のアイデアが広がったため。	
7	介護ロボットへの色々な考えを聞いた事。	
8	市役所の業務の中ではわからない現場でのリアルな声を聞くことができました。今後の市役所で業務を進めていく中でこういった政策が必要なのか参考とさせていただきたいと思えます。	
9	プレゼンテーションを通じて他社の様々な商品について知ることができた。	
10	当日業務となってしまったので、合間で聴講していたため。	
11	沢山の介護ロボットの説明や導入効果が知ることができた。	
12	知らない介護機器があった。また導入している機器もあったが、使い方を熟知できていないことも知れたので。	

8 講師の話は聞き取りやすかったですか？		(n=14)	
1	聞き取りやすかった	12	85.7%
2	聞き取りにくかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	1	7.1%
4	回答しない	1	7.1%
	無回答	1	

9 今後、興味のあるテーマのWEBセミナーがあれば受講を希望しますか？		(n=15)	
1	WEBセミナーを受講したい	6	40.0%
2	できる限り現地（対面）開催のセミナーを受講したい	5	33.3%
3	どちらともいえない	4	26.7%
4	回答しない	0	0.0%

10 WEBセミナーの改善点や要望があれば記載してください (n=15)

1	プレゼンの時間がせめて12分程度は欲しい(質疑も入れて)
2	LIFEを中心とした、情報の一本化に関する知識、情報
3	質疑応答が活発になれば良いと感じました。 そのためにいわゆるサクラなども必要かもしれません。
4	現場からの要望がもう少し聞けると参考になる。
5	急遽オンラインでの開催となったがスムーズに進行されており良かったです。
6	特にありません。

11 企業展示ページで何をしましたか? (n=14)

1	テキスト等を読む, 製品紹介(動画等)の閲覧	3	21.4%
2	製品紹介(動画等)の閲覧, 各種資料のダウンロード	7	50.0%
3	各種資料のダウンロード	1	7.1%
4	企業担当者との個別連絡	0	
5	企業展示ページを見ていない	1	7.1%
6	その他	2	14.3%

無回答

1

12 展示機器(プレゼンテーション)の中で興味のあるものはありましたか? (n=15)

1	あった	8	53.3%
2	なかった	0	0.0%
3	回答しない	7	46.7%

13 興味があった機器 (n=6)

1	眠りスキャン
2	見守りキューブ お知らせのわかりやすさなど参考になりました。
3	見守り機器
4	見守り系全般
5	非接触見守りセンサーとモニターを組み合わせた各種機器など
6	商品をしらなかつた見守り機器

14 フォーラムの感想、介護ロボットに対する意見があればご自由にお書きください (n=15)

1	今回は対面式でなくて残念でしたがまた次の機会があれば参加させていただきたいです。
2	最新の情報に触れることができ、参考になりました。ありがとうございました。
3	大変ありがとうございました。行政の支援制度・取り組みが他県に比べ少ないのも課題。
4	本日はありがとうございました。楽しく聴講させて頂きました。
5	事務局の運営、お疲れ様でございました。 対面での開催から急遽オンラインにされてご苦労も多かったと思います。 進行はスムーズで6分という時間が短いかなと思いましたが、逆に間延びする事なく進行しており多くの介護ロボットについて見る事ができ非常に満足しております。 また、このような機会がありましたら出展させて頂きたく存じます。 この度はありがとうございました。
6	今後も同様のセミナー開催いただけますと幸いです。

介護現場対象

15 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか？ (n=12)

1 導入している	4	33.3%
2 導入していない	2	16.7%
3 回答しない	6	50.0%
無回答	3	

複数回答

16 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか？ (n=3)

1 移乗介助（装着型）	2	66.7%
2 移乗介助（非装着型）	0	0.0%
3 移動支援（屋内）	2	66.7%
4 移動支援（屋外）	0	0.0%
5 移動支援（その他）	0	0.0%
6 排泄支援	0	0.0%
7 排泄予測	0	0.0%
8 排泄支援（動作）	0	0.0%
9 見守り（介護施設）	0	0.0%
10 見守り（在宅）	0	0.0%
11 コミュニケーション	1	33.3%
12 入浴支援	0	0.0%
13 介護業務支援	2	66.7%
14 その他	0	0.0%

17 あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか？ (n=12)

1 思う	10	83.3%
2 思わない	0	0.0%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 回答しない	2	16.7%
無回答	3	

18 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか？ (n=12)

1 思う	9	75.0%
2 思わない	3	25.0%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 回答しない	0	0.0%
無回答	3	

前問の理由 (n=9)

1 利用者との接触頻度の削減（感染防止）。
2 介護職員の不足・高齢化にコロナ禍が加わり労働環境の改善は急務だが、現実的には急いで進めることは難しいと思うから。
3 機器を使った介護は、密になりすぎることを防ぐので、コロナは介護ロボット普及にはプラスに働くと思っています。
4 労力の軽減は人との接触を減らす事にも繋がるので普及には良い面もある。
5 マンパワー不足となりやすいため。
6 利用する側の考え次第だと思います。
7 コロナにかかわらず、介護職の慢性的な不足は解消していないから。
8 実証実験の結果、みまもり支援機器を導入することにより、訪室の回数を軽減できることが実証できたから。
9 人手不足のため。

(7) 佐賀県

佐賀県介護ロボット地域フォーラム(シンポジウム)アンケート集計結果

シンポジウム参加者:来場 18名、WEB 21名 合計39名
アンケート回答23件(回収率 59.0%)

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種をお答えください。

① 性別(N=23)

項目	回答数	割合
男性	14	60.9%
女性	9	39.1%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

② 年齢(N=23)

項目	回答数	割合
10歳未満	0	0.0%
10代	0	0.0%
20代	10	43.5%
30代	6	26.1%
40代	4	17.4%
50代	3	13.0%
60代	0	0.0%
70代	0	0.0%
80代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

③ 地域(N=23)

項目	回答数	割合
県内	15	65.2%
県外	6	26.1%
無回答	2	8.7%

	計	23	100.0%
--	---	----	--------

④ 勤務先(N=23)

項目	回答数	割合
介護関係	8	34.8%
医療関係	0	0.0%
自治体	2	8.7%
メーカー	1	4.3%
販売代理店	0	0.0%
その他	9	39.1%
無回答	3	13.1%
	計	23
		100.0%

その他の記載内容(自由記載)

学生	7
教育機関	2

⑤ 職種(N=23)

項目	回答数	割合
医師	0	0.0%
看護師	0	0.0%
准看護師	1	4.3%
理学療法士	0	0.0%
作業療法士	0	0.0%
言語聴覚士	0	0.0%
介護支援専門員	1	4.3%
介護福祉士	5	21.7%
福祉用具専門相談員	0	0.0%
その他の介護職	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	16	69.7%
	計	23
		100.0%

2. シンポジウムの内容は参考になりましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
参考になった	22	95.7%
参考にならなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

日頃介護ロボットを扱わないため
介護事業所の取り組み状況や介護ロボットに対する考え方が確認できたため
佐賀県、および厚生労働省での先端介護製品に対する取り組みを知ることができました
これまで知らなかった介護ロボットの紹介について知ることができたり、どのような経緯で導入され、どのように活用されているのかを知ることができたため
実際の事例などはこのような場でしか知ることができないので参考になった
様々な介護ロボットがあることを知ることができたため
最新情報の取得
IT・AI が実際に介護現場で活用されている状況を知ることができたからです
介護ロボットについて詳しく知ることができたから
県の取り組みを聞いたことと併せて実際補助金にて介護ロボットを実施している話が参考になりました
マットレスの下に設置するだけで睡眠が測れるのは、睡眠の質の向上や日常生活の向上に繋がると感じた
参加しないと分からないことが沢山あった
リモートでの説明が途切れたりして分かりにくかった。必要なことをメモしていたが、スライドが早すぎた
実際に使用されている話は参考になった
実際の取り組みも知る事が出来、今後の活用を考える事が出来た
介護ロボット導入に向けた取り組みを聞け、興味深い新たな事も聞けた
ロボットの介入はすぐそこまで来ているという事が分かった
身近に感じる事ができたから
佐賀県の取り組みについて理解する事ができたから
聞いたことのないことを聞くことが出来た

3. 介護ロボット・福祉機器の紹介、実演の内容は参考になりましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
参考になった	22	95.7%

参考にならなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

今後介護現場のみならず医療現場においてもその活用は積極的に行われることが示唆されるから
各ロボットの概要の紹介があり、ロボットの利用方法やメリットを知ることができたため
各社とも、製品の機能やプレゼンテーションの内容について、現場の方の利用ニーズに沿ったものを制作されており、参考になりました。
介護ロボットが介護者や患者さんの負担軽減のために以下に工夫されて作られており、どのように活用されているのかを知るきっかけになったため
ベッドの使用などは移乗や立ち上がりまで見られるとより良かった
実際に現地で見ることができなかったが、パワーポイントや動画で紹介していただき分かりやすかったため
最新情報の取得
今は、介護現場には所属していませんが、介護現場への介護ロボットの導入等を期待しています。このような情報を知ることによって、私からも介護現場への情報提供ができるのではないかと思います
どのような特徴があるのか知ることができたから
どのようなロボット機能であるか知ることができた。
リフトに乗る立場を経験出来て良かった。
知らなかった介護ロボット福祉機器があつて参考になった。
介護ロボットの種類や活用方法を知る事が出来、自分の現場での課題を考える事が出来た。
まだ知らなかった機器などもあり、興味深い。
介護者が減っている中で、ロボットは重要な役割が期待されているということが分かりました。
実習で役立つと思ったから。
授業で習ったものを実際に見る事が出来たから。

4. 展示機器の台数はどうでしたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
多いと感じた	3	13.0%
今回くらいでよい	14	61.0%
少ないと感じた	3	13.0%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

5. 展示機器の中で興味のある物はありましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
あった	19	82.6%
なかった	1	4.3%
無回答	3	13.1%
計	23	100.0%

【興味があった機器を教えてください(複数選択可)】

項目	回答数
ライブコネク	6
見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU 助」	9
ベッド内蔵型見守りセンサー「i サポート」搭載 X シリーズ	5
見守りケアシステム M2	9
ラップポンエール2	2
移乗サポートロボット Hug	11
みまもり CUBU	3
スカイリフト	7
ロボットアシストウォーカー RT- I 、RT- II	3
メンタルコミットロボット パロ	3
スマイビ S	1
ユメル、ネルル	1
こんにちは赤ちゃん	4
なでなでねこちゃん DX3、なでなでワンちゃん	3

6. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があればご自由にお書きください。

本日は当社製品 (FUKU 助) をご紹介する機会をいただき、ありがとうございました。
将来、働く際に患者さんへの提供できる情報の一つとしてこのような物もあることを知ることができ、活用されるように様々な工夫をされており、とても面白いフォーラムでした。ありがとうございました。
毎年実施していただき、介護機器のアップデートしたい。
このような研修会に、もっと多くの介護現場の方に参加していただきたいと思いました。知っているのと知らないのでは支援方法が大きく異なりますし、サービス・職員のモチベーション差にもつながると思います。施設の上層部の方に、是非参加していただきたいと思いました。生意気な意見ですみません。

Wi-Fi 環境を設備してほしい。
これから介護職で働くために介護ロボットや福祉用具の事をもっと知りたくて来ました。介護現場研修がなくなったので、今回フォーラムに参加できて良かったです。

介護事業者の方のみ、以下の設問にご回答ください。

7. 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
導入している	3	60.0%
導入していない	2	40.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

8. 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか。(当てはまるもの全てにチェック)

項目	回答数
移乗介助(装着型)	0
移動介助(非装着型)	1
移動支援(屋外)	0
移動支援(屋内)	0
移動支援(その他)	0
排泄支援	0
排泄予測	0
排泄支援(動作)	0
見守り(介護施設)	3
見守り(在宅)	0
コミュニケーション	1
入浴支援	0
介護業務支援	0
その他	0

9. あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
----	-----	----

思う	5	100.0%
思わない	0	0.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

安心、安楽な介護を受けたい。
睡眠時の見守り、Hug
Hug。腰痛のあるスタッフも多いため使用し、痛みの軽減に努めたい
利用者・介護者双方の負担軽減のため

10. 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
思う	4	80.0%
思わない	1	20.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

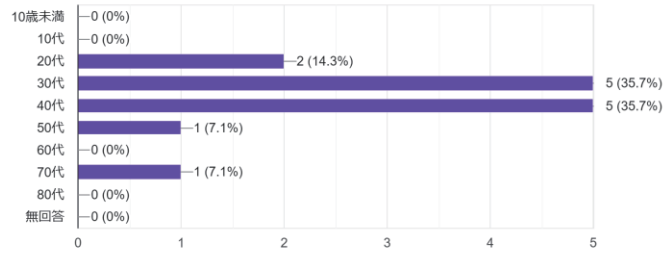
【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

訪問回数の低下等により感染リスクを下げる。
良い意味で感染対策にもなると考える
面会や介助方法についても急激に変わっている中で、普及は加速していくと思います

アンケート結果

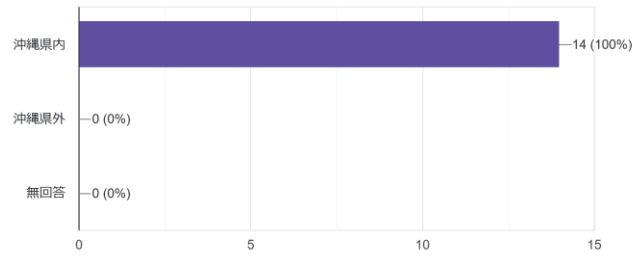
1. 年齢

14件の回答



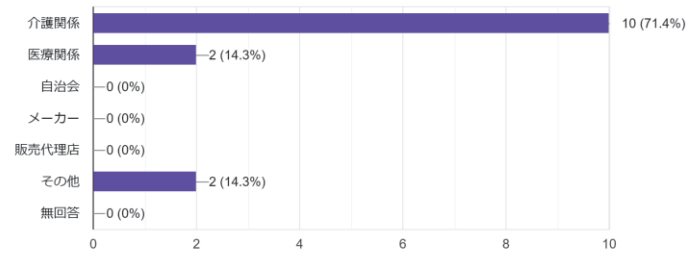
2. 居住地

14件の回答



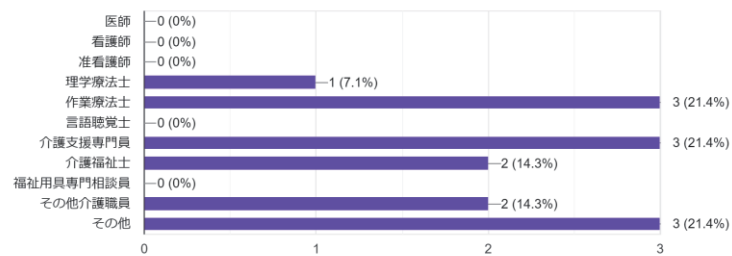
3. 勤務先

14件の回答



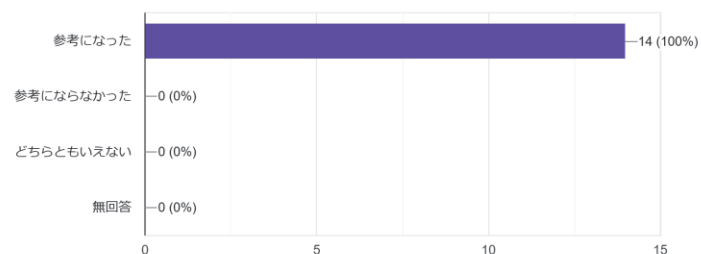
4. 職種

14件の回答



5. シンポジウムの内容は参考になったか

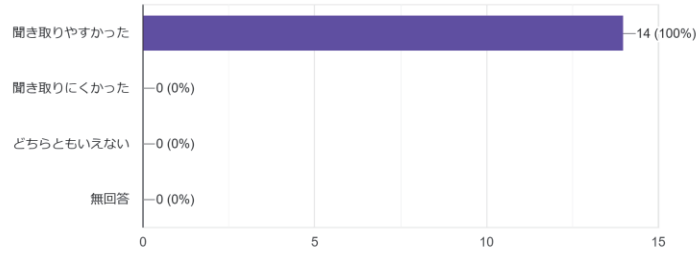
14件の回答



アンケート結果

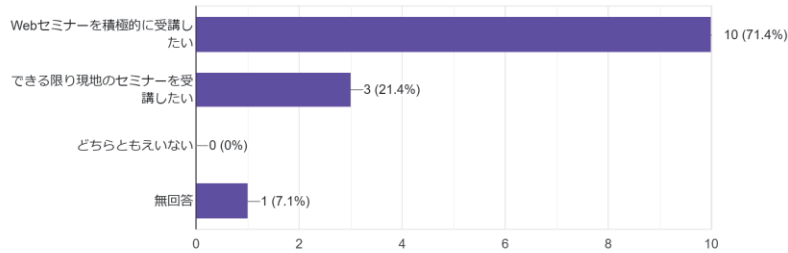
6. 講師の話は聞き取りやすかったですか

14件の回答



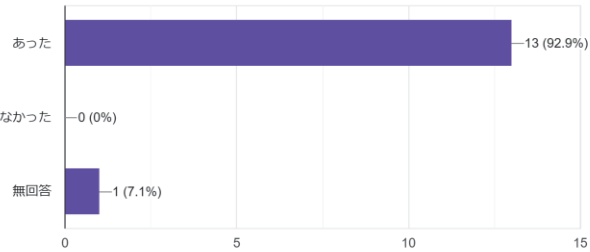
7. 今後、興味のあるWebセミナーがあれば受講を希望するか

14件の回答



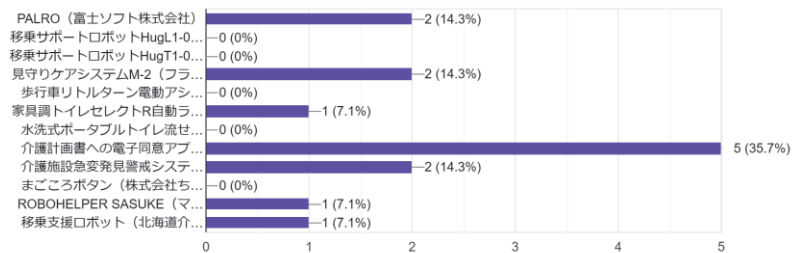
8. 介護ロボット機器紹介の中で興味のある物はあったか

14件の回答



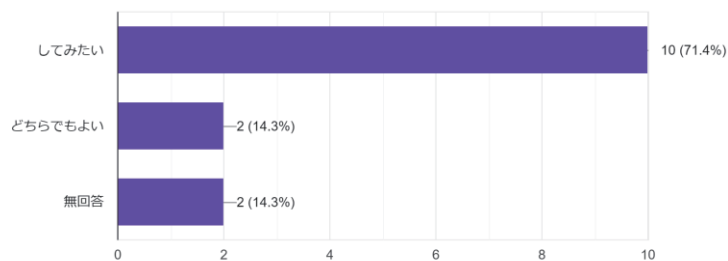
9. 興味のある機器

14件の回答



10. 興味のある機器を実際に使用・体験してみたいか

14件の回答



厚生労働省 「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

オンラインによるシンポジウム
配信のみとなりました

介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した
未来の介護

令和4年1月26日 **水**

11:00～16:30

TOC有明4階
コンベンションホール

参加費無料
入退場自由

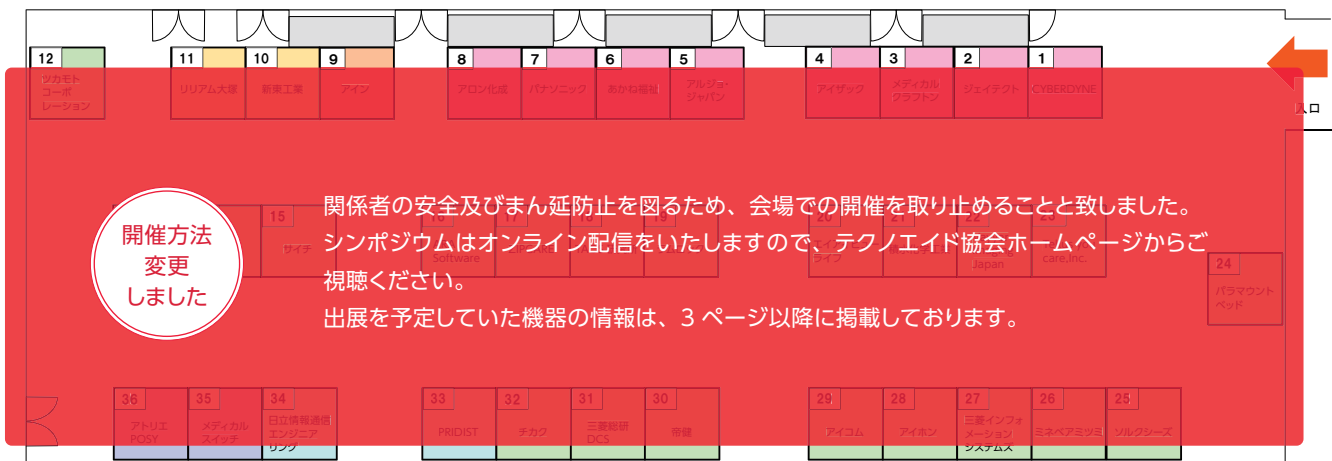
介護ロボット全国フォーラム

4階
コンベンション
ホール

~~WESTホール~~ 会場開催中止

~~最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00~16:30)~~

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか (約 30 社の実機を展示)



開催方法
変更
しました

関係者の安全及びまん延防止を図るため、会場での開催を取り止めること致しました。
シンポジウムはオンライン配信をいたしますので、テクノエイド協会ホームページからご
視聴ください。
出展を予定していた機器の情報は、3 ページ以降に掲載しております。

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野
1	CYBERDYNE 株式会社	HAL 腰タイプ 介護・自立支援用	移乗支援
2	株式会社ジェイテクト	衣服型アクティブパワーアシスト スーツ J-PASfleairy(フレアリー) 自立推進トレーニングロボット J-Walker テクテック	移乗支援 移動支援
3	メディカルクラフトン 株式会社	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援
4	株式会社アイザック	Keipu-Sb	移乗支援
5	アルジョ・ジャパン 株式会社	移乗支援機器サラフレックス 移乗支援機器マキシムーブ	移乗支援
6	株式会社 あかね福祉	[移乗です]	移乗支援
7	パナソニック株式会社	歩行トレーニングロボット	移動支援
8	アロン化成株式会社	歩行車リトルターン 電動アシスト付き 水洗ポータブルトイレ キュレット 家具調トイレ セレクト R 自動ラップ	移動支援 排泄支援
9	株式会社アイン	ナノミストベッドタイプ	入浴支援
10	新東工業株式会社	Aiserv® 排泄検知システム	排泄支援
11	株式会社リリアム大塚	排尿タイミング予測支援デバイス [リリアムスポット 2]	排泄支援
12	株式会社ツカモトコーポ レーション	AlgoSleep 介護用見守りセンサー	見守り/コミュ ニケーション
13	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ®+Dr	見守り/コミュ ニケーション
14	富士通株式会社	ミリ波装置による見守りサービス	見守り/コミュ ニケーション
15	株式会社サイチ	みまもり花子 PLEN Cube	見守り/コミュ ニケーション
16	株式会社 ARASoftware	eye-Box smart R	見守り/コミュ ニケーション
17	株式会社 ZIPCARE	まもる~の HOME (在宅向け) まもる~の Station (施設向け)	見守り/コミュ ニケーション
18	株式会社 TAOS 研究所	見守りセンサー AiSleep	見守り/コミュ ニケーション

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野
19	株式会社ラムロック	みまもり CUBE Plus-システム Light-	見守り/コミュ ニケーション
20	エイアイビュラライフ 株式会社	自立支援型 介護見守りシステム A.I.Viewlife 生体センサー連動版	見守り/コミュ ニケーション
21	積水化学工業株式会社	見守りセンサー ANSIEL (アンシエル)	見守り/コミュ ニケーション
22	Vayyar Imaging Japan	Vayyar Care (バヤーカー)	見守り/コミュ ニケーション
23	Tellus you care,Inc.	Tellus 生活リズムセンサー	見守り/コミュ ニケーション
24	パラマウントベッド 株式会社	見守り支援システム 眠り SCAN	見守り/コミュ ニケーション
25	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム [いまイルモ]	見守り/コミュ ニケーション
26	ミネバアミツミ株式会社	リコーみまもりベッドセンサー システム	見守り/コミュ ニケーション
27	三菱電機 インフォメーション システムズ株式会社	AI x 見守りサービス kizkia-Knight (きづきあ-ないと)	見守り/コミュ ニケーション
28	アイホン株式会社	見守りカメラ (Vi-nurse システム)	見守り/コミュ ニケーション
29	アイコム株式会社	HP200H (モバイル IP フォン インカム) IP100H (無線 LAN インカム)	見守り/コミュ ニケーション
30	株式会社帝健	腰部負担計測用スマートデバイス	見守り/コミュ ニケーション
31	三菱総研DCS株式会社	Link & Robo for ウェルネス	見守り/コミュ ニケーション
32	株式会社チカク	オンライン面会用テレビ電話	見守り/コミュ ニケーション
33	株式会社 PRIDIST	Time Tapper	ソフトウェア 介護記録
34	株式会社日立情報通信 エンジニアリング	日立データコレクション IC2000 -介護施設向けケア支援ソリューション-	ソフトウェア 介護記録
35	株式会社メディカル スイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット [FUKU助]	その他
36	株式会社アトリエ POSY	植バズシート、set up ボード	その他

テクノロジーを活用した未来の介護

4階



EASTホール オンライン配信のみ

シンポジウム (13:00~16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)

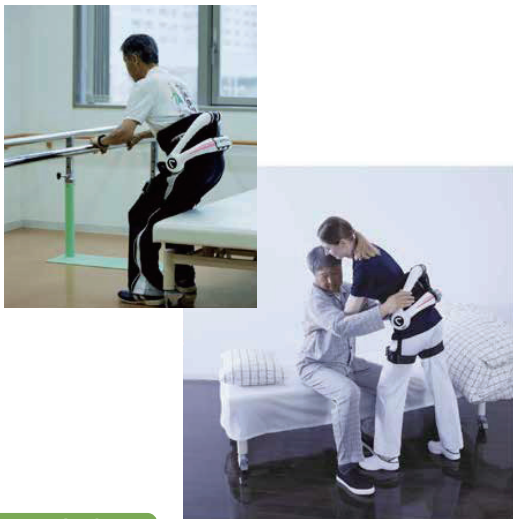
※事前登録制とさせていただきます、参加申込をされていない方は、入場できません。※入場制限あり

13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 司会 公益財団法人テクノエイド協会	大橋 謙策
13:10-13:50 (各20分) 行政報告	厚生労働省における介護テクノロジー関連政策について 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 経済産業省における福祉・ロボット介護機器産業政策について 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐	須藤 明彦氏 岡崎 健一氏
13:50-14:00	休憩	
14:00-14:40 (各20分) 成果報告	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームについて 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット	谷田 良平 山内 勇輝氏
14:40-14:50	休憩	
14:50-16:10 (各20分) 基調報告	介護の質と生産性を向上する未来の介護 介護ロボット実用化支援事業の取り組み スマリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸 ケアセンター センター長 コロナ禍において、介護の可能性を広げるIoTシステムの実践について リハ・ハウス来夢	福本 順子氏 矢代 虎太郎氏
	テクノロジーの活用を提案する アルゴスリープ介護現場から見た見守りセンサーの活用法 株式会社ツカモトコーポレーション 排泄検知システムの開発と介護施設でのモニター調査結果 新東工業 株式会社 開発本部開発グループ	小林 孝路氏 鈴木 誉久氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会	

出展機器

1 CYBERDYNE株式会社

HAL腰タイプ 介護・自立支援用



問合せ先

茨城県つくば市学園南2-1-1
TEL:029-869-8448 E-Mail:ag-sales@cyberdyne.jp

2 株式会社ジェイテクト

衣服型アクティブパワーアシストスーツJ-PASfleairy(フレアリー)
自立推進トレーニングロボットJ-Walkerテクテック



問合せ先

愛知県刈谷市朝日町1-1 技術二号館3階
TEL:0566-25-5193 E-Mail:rie_a_suzuki@jtekt.co.jp

3 メディカルクラフトン株式会社

DARWING Hakobelude
(ダーウィン ハコベルデ)



問合せ先

岡山県岡山市南区古新田1125
TEL:086-282-1770 E-Mail:suemori@medicalcrafton.jp

4 株式会社アイザック

Keipu-Sb



問合せ先

福島県会津若松市山見町25-9
TEL:0242-85-8590 E-Mail:info@aizuk.jp

5 アルジョ・ジャパン株式会社

移乗支援機器サラフレックス
移乗支援機器マキシムーブ



問合せ先

東京都港区虎ノ門3-7-8ランディック第2虎ノ門ビル9階
TEL:070-3284-8665 E-Mail:nobuaki.nakanishi@arjo.com

6 株式会社 あかね福祉

「移乗です」



問合せ先

福島県郡山市安積町荒井字雷神16-1
TEL:024-937-5022 E-Mail:me-ka@akane-fukushi.co.jp

7 パナソニック株式会社

歩行トレーニングロボット



問合せ先

大阪府門真市大字門真1006
TEL:070-2919-3230 E-Mail:wtr_sales@gg.jp.panasonic.com

8 アロン化成株式会社

歩行車リトルターン 電動アシスト付き
水洗ポータブルトイレ キューレット
家具調トイレ セレクトR 自動ラップ



問合せ先

東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8F
TEL:03-6891-6053 E-Mail:takuya_sakaguchi@aronkasei.co.jp

出展機器

9

株式会社アイン

ナノミストベッドタイプ



問合せ先

大阪府大阪市浪速区日本橋東1-12-18
TEL:06-6648-7222 E-Mail:info@eins-1.jp

10

新東工業株式会社

Aiserv®排泄検知システム



問合せ先

愛知県豊川市穂ノ原3-1
TEL:0533-95-4020 E-Mail:info-aiserv@sinto.co.jp

11

株式会社リリアム大塚

排尿タイミング予測支援デバイス
「リリアムスポット 2」



問合せ先

神奈川県相模原市中央区中央1-1-1 シブラルタ生命相模原ビル3階
TEL:042-707-4258 E-Mail:Lilium-inq@otsuka.jp

12

株式会社ツカモトコーポレーション

AlgoSleep介護用見守りセンサー



問合せ先

東京都中央区日本橋本町1-6-5
TEL:03-3279-6847 E-Mail:t-kobayashi@tsukamoto.co.jp

13 エコナビスタ株式会社

ライフリズムナビ®+Dr



問合せ先

東京都千代田区紀尾井町3-1 KKDビル6F
TEL:03-6206-9207 E-Mail:d.kidoka@econavista.com

14 富士通株式会社

ミリ波装置による見守りサービス



問合せ先

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5JR川崎タワー
TEL:080-854-2745 E-Mail:yoshikawa.masat@fujitsu.com

15 株式会社サイチ

みまもり花子PLEN Cube



問合せ先

愛知県西尾市中畑町宮西34-1
TEL:0563-59-5252 E-Mail:anshin@saichi.jp

16 株式会社ARASoftware

eye-Box smart R



問合せ先

北海道北見市東三輪4丁目16-10
TEL:080-3293-0402 E-Mail:ceo-murai@arasoftware.com

出展機器

17

株式会社ZIPCARE

まもる～のHOME (在宅向け)
まもる～のStation (施設向け)



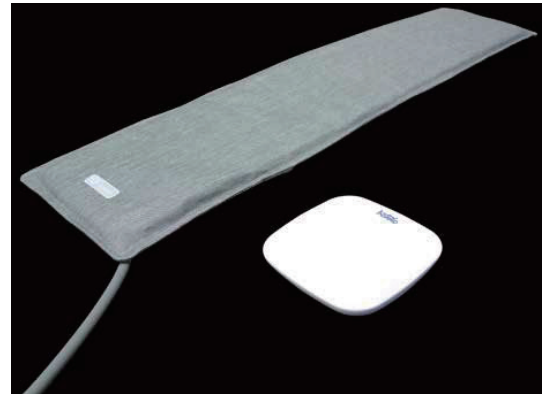
問合せ先

東京都千代田区神田佐久間町4-16パルク2ビル3F
TEL:03-5817-8767 E-Mail:info@zipcare.co.jp

18

株式会社TAOS研究所

見守りセンサAiSleep



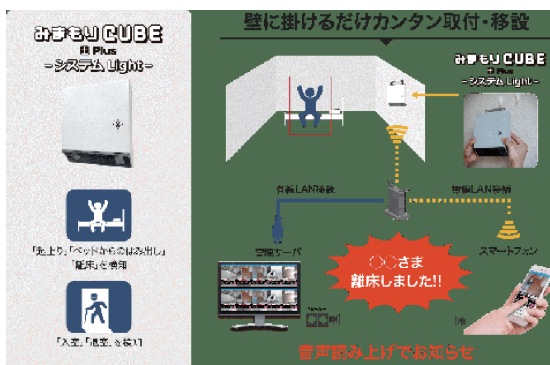
問合せ先

神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15パレアナビル8F
TEL:045-620-7647 E-Mail:info@itaos.org

19

株式会社ラムロック

みまもりCUBE Plus -システムLight-



問合せ先

福岡県飯塚市勢田1950-1
TEL:0948-92-3156 E-Mail:shishidou@ramrock.co.jp

20

エイアイビューライフ株式会社

自立支援型 介護見守りシステム
A.I.Viewlife 生体センサー連動版



問合せ先

東京都千代田区隼町2-13 US半蔵門ビル201
TEL:03-6261-6327 E-Mail:support@aiview.life

21 積水化学工業株式会社

見守りセンサー ANSiEL (アンシエル)



問合せ先

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー21F
TEL:03-6748-6525 E-Mail:ansiel@sekisui.com

22 Vayyar Imaging Japan

Vayyar Care (バヤーケア)

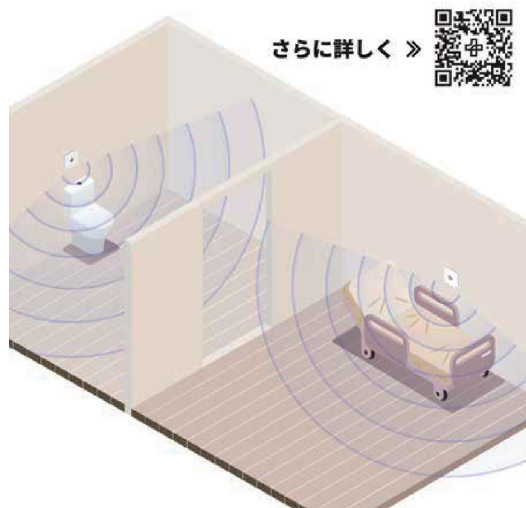


問合せ先

東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー7F
TEL:03-6894-2365 E-Mail:shigeki.takeda@vayyar.com

23 Tellus you care,Inc.

Tellus 生活リズムセンサー

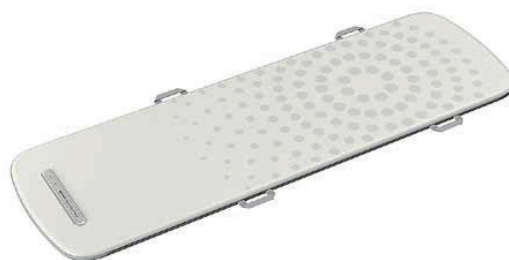


問合せ先

東京都渋谷区道玄坂1-9-4 ODAビルディング3F 株式会社スパイラルアンドカンパニー内
TEL:090-9969-4217 E-Mail:sales@tellusyoucare.com

24 パラマウントベッド株式会社

見守り支援システム 眠りSCAN



問合せ先

東京都江東区東砂2-14-5
TEL:080-2563-1301 E-Mail:t.iwata@paramount.co.jp

出展機器

25 株式会社ソルクシーズ

見守り支援システム「いまイルモ」



問合せ先

東京都港区海岸3-9-15 LOOP-Xビル5F
TEL:03-6722-5019 E-Mail:tkameyama@solxyz.co.jp

26 ミネベアミツミ株式会社

リコーみまもりベッドセンサーシステム



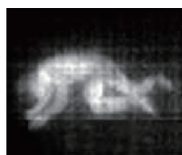
問合せ先

東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館11階
TEL:03-6758-6272 E-Mail:ytanaka.mt@minebeamitsumi.com

27 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

AI x 見守りサービス
kizkia-Knight (きづきあ-ないと)

赤外線センサーを壁に設置



シルエット映像

スマホで見守り



kizkia-Knight きづきあ-ないと

問合せ先

東京都港区芝浦4-13-23
TEL:03-5445-7306 E-Mail:kizkia_sales@mdis.co.jp

28 アイホン株式会社

見守りカメラ(Vi-nurseシステム)



問合せ先

名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル10階
TEL:080-1603-2280 E-Mail:masayuki_ueda@aiphone.co.jp

29

アイコム株式会社

IIP200H(モバイルIP フォン インカム)
IP100H(無線LAN インカム)



問合せ先

東京都江東区木場2-17-16ビサイド木場5F
TEL:03-6240-3538 E-Mail:Ryosuke_imanaka@icom.co.jp

30

株式会社帝健

腰部負担計測用スマートデバイス



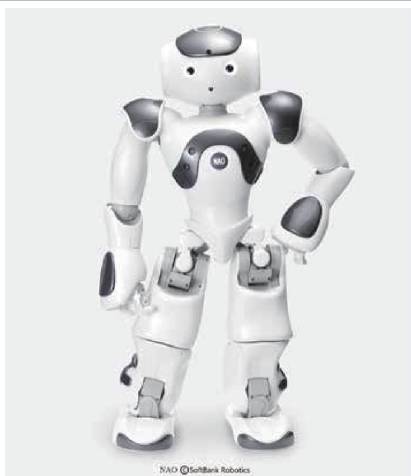
問合せ先

大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト31階
TEL:06-6233-3565 E-Mail:wada-k@tejjin-frontier.com

31

三菱総研DCS株式会社

Link & Robo forウェルネス



※ソフトバンクロボティクスの小型二足歩行ロボット(NAO)を活用し、三菱総研DCSにて独自にサービス提供をしています ※(NAO)はソフトバンクロボティクスの商標です

問合せ先

東京都品川区東品川四丁目12-2
E-Mail:robocomm@dcs.co.jp

32

株式会社チカク

オンライン面会用テレビ電話



問合せ先

東京都渋谷区東2-14-7
TEL:03-6712-6886 E-Mail:biz@chikaku.co.jp

出展機器

33 株式会社PRIDIST

Time Tapper



問合せ先

神奈川県平塚市宝町11-1 平塚フジビル3F
TEL:0463-23-7830 E-Mail:information@pridist.com

34 株式会社日立情報通信エンジニアリング

日立データコレクションIC2000
-介護施設向けケア支援ソリューション-



問合せ先

神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号クイーンズタワーB棟22階
TEL:090-9242-8635 E-Mail:haruka.akimoto.pj@hitachi.com

35 株式会社メディカルスイッチ

見守り機能付き服薬支援ロボット
「FUKU助」



問合せ先

東京都大田区西糀谷4-26-6 糀谷岡野ビル502
TEL:03-6883-3360 E-Mail:info@medical-switch.com

36 株式会社アトリエPOSY

植パズシート、set upボード



問合せ先

千葉県千葉市中央区亥鼻2-3-11
TEL:043-221-6854 E-Mail:info@posy.jp

事務局

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話番号 03(3266)6883 FAX 03(3266)6885

企業向け

令和3年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、
「試作機器へのアドバイス支援事業」、
「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

募集要項

令和3年6月24日

公益財団法人テクノエイド協会

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行う事業です。従って、予定する件数や予算に到達しだい受付終了となりますので、予めご了承ください。詳しくは、当協会までお尋ねください。

本事業で使用する様式は、当協会のホームページ（<http://www.techno-aids.or.jp/>）からダウンロードしてください。

目次

1. 目的、事業の概要	1
2. 事業内容	3
A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集	3
(1) 募集対象者	3
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	3
(3) 実施内容等	3
B. 「試作機器へのアドバイス支援事業」の募集	5
(1) 募集対象者	5
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	5
(3) 実施内容等	5
C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集	7
(1) 募集対象者	7
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	7
(3) 実施内容	7
(4) モニター調査の枠組み	8
(5) 応募書類と方法	10
(6) 募集期間	10
(7) 採否の決定等	10
(8) モニター調査の流れ	10
3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）	12
4. 様式（企業向けの様式）	14
様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）	14
様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）	15
様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）	17
様式D（介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書）	18
様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）	21
5. 参考資料（介護施設等向けの様式）	22
様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）	22
様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）	24
様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業）	25
様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）	26
様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）	28
様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）	30
公益財団法人テクノエイド協会の概要	31

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、 「試作機器へのアドバイス支援事業」、 「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

～ 募集要項 ～

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

現状・課題

【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

資料：厚生労働省

1. 目的、事業の概要

当協会では、厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」を実施しています。

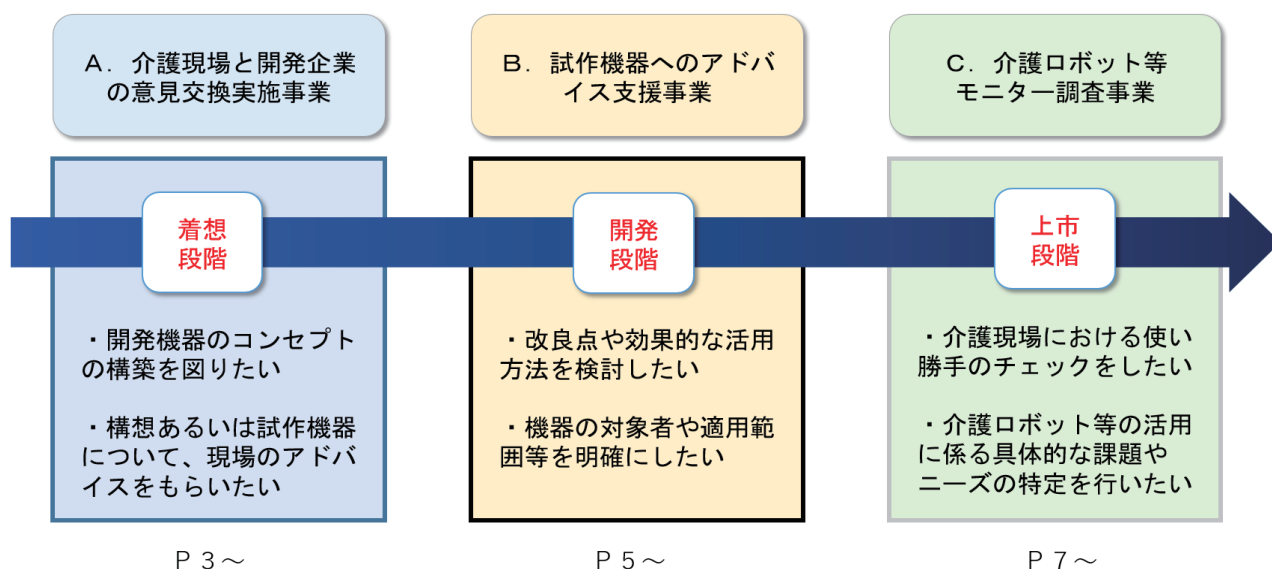
本事業は、高齢者介護の現場において、真に必要とされる「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」。）」の実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業です。

この度、本事業の一環として、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、次頁以降に記載する3事業を行うことと致しました。

それぞれの事業の趣旨を踏まえ、いずれか（あるいは複数）の事業を希望される企業の方は、本書記載の内容に沿って応募してください。

なお、本事業は、予算の範囲で実施するものであり、予定の件数に到達しだい受付終了となりますので予めご了承ください。

3 事業の概要
(開発段階に応じた事業メニュー)



※開発（検討）中の機器がどの段階にあるか不明な場合は、当協会までご相談ください。

開発段階に応じた事業メニュー		開発段階	試作機	実施期間
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	コンセプト段階 開発中（試作段階）		1～2日間
B	試作機器へのアドバイス支援事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1週間～1ヶ月程度
C	介護ロボット等モニター調査事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1ヶ月～6ヶ月程度

(事業で使用する様式)

事業メニュー		依頼書 様式A	依頼概要書 様式B	要望書 様式C	計画概要書 様式D	事業報告書 様式E
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○	○			
B	試作機器へのアドバイス支援事業	○	○			
C	介護ロボット等モニター調査事業			○	○	○
本書の掲載頁 →		P 1 4	P 1 5	P 1 7	P 1 8	P 2 1

※Cの事業には、応募期限があります。（P 1 0）

※各様式は、当協会ホームページからダウンロードできます。

2. 事業内容

A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等についての話し合いを行います。

（1）募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- ▶ 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- ▶ 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- ▶ 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和3年6月28日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和3年7月～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式A 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書 …… P14

様式B 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書 …… P15

●提出部数

正本1部、電子媒体1枚（電子メール又はCD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式1 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書 …… P22

様式2 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書 …… P24

様式3 介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業
請求書 …… P25

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることで済みます。

B. 「試作機器へのアドバイス支援事業」の募集

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促します。※高齢者に実際に使用することはありません。

（1）募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

20件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和3年6月28日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和3年7月～（※実施期間：1週間～1ヶ月程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・試作機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式 A 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書 …………… P 1 4

様式 B 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書 …… P 1 5

●提出部数

正本 1 部、電子媒体 1 枚（電子メール又は CD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書 …………… P 2 2

様式 2 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書 …………… P 2 4

様式 3 介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業
請求書 …… P 2 5

※様式 1 及び 2、3 は、「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」と同様の様式です。

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致しません。

C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うこととします。

モニター調査と合わせて、実証試験を行うことも可能です。

（1）募集対象者

以下の2つの条件を満たす必要があります。

- ① 本モニター調査は、後述する（4）に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等が対象となります。
- ② 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等が対象となります。

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①力センサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容

①実施期間

採択決定後～令和4年1月末

※モニター調査の期間は、内容や規模を考慮し協力施設等を相談して決定すること。

②採択件数

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

③モニター調査の期間

1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）

④費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・モニター調査協力費として、15万円

⑤企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。但し、15件に到達した時点でマッチングは終了となります。

⑥モニター調査実施にあたっての留意

- ・ モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的としております。
- ・ 申請に当たって、実施するモニター調査の内容の一部を登録施設等へ情報提供するとともに、当協会のホームページから情報提供することに同意いただくことになります。
- ・ 適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、当協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行います。
- ・ モニター調査は、利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施が必須となります。

（４）モニター調査の枠組み

本モニター調査は、下記にまとめた観点の①～⑤に基づいて実施していただきます。

応募に際して、機器開発の状況、今回のモニター調査で把握したい事項などについて、この枠組みに即して記載してください。

なお、①～⑤の全てを行う必要はありません。調査したい項目を選択してください。

モニター調査項目の基本的な考え方と指標の例

①利用対象者の適用範囲

開発の狙いと想定する身体機能レベルの整合性について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	要介護度、ベッド利用時の状態・時間・転落の危険性の有無、姿勢保持レベル、コミュニケーション能力、歩行・移動の自立度、排泄の自立度
調査結果の活用	利用者の適用範囲について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

②利用環境の条件

機器利用環境の条件について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	利用時に必要となる空間（広さ）、設備、介助者の条件
調査結果の活用	利用環境について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支

	障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。
--	---

③機器の利用効果

機器開発の狙いに即して、調査すべき項目・指標を設定する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標設定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究開発の蓄積から、独自に設定。 ・学識経験者、類似開発経験者等有識者の指導・協力を得て設定。 ・モニター調査協力施設との意見交換により設定。等
指標	<p>① 被介護者 要介護度、ADL、IADL (FIM 指標)、LSA (Life Space Assessment)、日常生活時間、QOL (sf-36、QOL26 等)</p> <p>② 介護者 腰痛等の有無、介護負担指標 (Zarit 介護負担尺度、BIC-11 等)、ストレス指標、生体情報 (筋電図、心電図、運動解析情報)</p> <p>③ 介護サービス提供全体の流れ プロセス全体の時間、人員構成、職務タイムスタディ法</p>
調査結果の活用	提案するロボットを活用することにより、各指標がどの程度改善したかを確認する。改善が見られない場合は、その原因を把握し、ロボットの改良につなげる。

④機器の導入・活用可能性

開発するロボットの操作可能性 (介護職員等が取扱うことができる技術であるか)、想定される導入コスト、導入した場合の利用者満足度を調査する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ QUEST (満足度評価) ・ VAS (Visual Analogue Scale) ・ SUS (System Usability Scale)
調査結果の活用	開発するロボットが、介護現場にとって導入・活用が可能なものか確認し、導入・活用が困難な場合は搭載する技術の見直し等を行う。

⑤介護現場での利用継続性

上記①～④の調査を踏まえた上で、モニター調査に協力した施設等で継続して利用したいと思うか調査する。

調査手法	インタビュー法、質問紙法等
調査内容	利用継続性の有無について、その理由も聴取
調査結果の活用	理由に基づき、今後の改良・修正箇所の確認、新商品の開発につなげる。

(5) 応募書類と方法

●提出資料

様式C 介護ロボット等モニター調査事業 要望書 …… P17

様式D 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 …… P18

●提出部数

正本1部、コピー1部、電子媒体1枚（電子メール又はCD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限 令和3年7月28日(水) 12時

(6) 募集期間

令和3年6月28日(月)～7月28日(水)

※) 募集期間に予定の件数及び予算に満たない場合には追加募集します。詳しくは当協会にお尋ねください。

(7) 採否の決定等

当協会による書面審査及び当協会が設置するモニター調査検討委員会の意見を踏まえて、最終的に当協会が決定します。

採否については、決定しだい応募された方へ通知いたします。

但し、介護施設等とのマッチング件数は、15件程度となります。15件に到達した時点で受付は終了となります。従って、採択されてもモニター調査先を選定することができない場合もあり得ることを予めご了承ください。

本事業に採択された企業におかれましては、2月に開催するモニター調査検討委員会において成果報告のプレゼンテーションを行っていただきます。

(8) モニター調査の流れ

★7月28日(水) 12時厳守

(様式C) 介護ロボット等モニター調査事業 要望書及び、

(様式D) 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書の提出期限

→ 協会にて書面審査を行います。

本事業は、企業に対する費用の交付はございませんが、介護施設等に対してモニター調査協力を当協会から予算の範囲内で交付します。従って、事務処理の都合上、一定程度の募集期間を設けておりますが、期間内で既定の応募件数を満たない場合には、追加募集することといたします。詳しくは、協会まで問い合わせてください。

→ 書面審査の結果を踏まえて、次のステップへ進みます。

★8月上旬～

① → **試作機器等の事前検証**の実施

書面審査の結果をクリアした案件については、原則として、当協会が設置する「モニター調査検討委員会」において、試作機器等の事前検証を行います。

事前検証は、当協会が指定した開催日に会場（東京都内を予定）までお越しいただき、当該機器の対象及び有用性、さらには想定するモニター調査の内容等について説明していただきます。

なお、事前検証に伴う旅費等の費用は応募者の負担となります。

また、新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

② → 委員会による審議を踏まえて、**採択企業を決定**

委員会審議の結果を送付します。

なお、委員会による審議の結果、モニター調査としては不採択であっても、当協会から「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」「試作機器へのアドバイス支援事業」の実施へ誘導する場合があります。

③ → 採択後の**モニター調査の計画作成に係わる助言・指導**

適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成にあたって、当協会の設置するモニター調査検討委員会等から、助言・指導を得ることができます。

④ → モニター調査を実施する**介護施設等とのマッチング**

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

15件の採択件数に到達した時点で受付終了となります。

次のステップへ進みます。



★8月下旬～令和4年1月末

→ 介護施設等において、**介護ロボット等モニター調査**の実施

→ モニター調査終了後、「事業報告書（様式E）」を提出していただきます。

必要に応じて協会職員が同行し、また適切なモニター調査が行われるよう、状況に応じて当該機器に適した専門家等を派遣します。

当協会では、製品の安全性やモニター調査にあたって生じた事故等の責任を負いません。必要に応じて保険をかけるなどし、十分注意して調査を行ってください。

★令和4年3月上旬

→ モニター調査検討委員会において、**成果報告のプレゼンテーション**の実施

モニター調査結果を踏まえて、プレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料のご用意をお願いします。開催日はおってお知らせします。

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式4	介護ロボット等モニター調査	実施希望書	……	P26
様式5	介護ロボット等モニター調査	結果報告書	……	P28
様式6	モニター調査事業・協力施設	請求書	……	P30

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で実施の打合せを行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致します。

3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（谷田・松本・根石（ねいし））
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL 03（3266）6883
電子メール monitor@techno-aids.or.jp

メモ

日付	問い合わせ内容	結果・対応

4. 様式（企業向けの様式）

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒
住所

事業者名
担当者所属
担当者名
電話番号
電子メールアドレス

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	

2. 依頼者（企業）の概要

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）		
試作機器の有無及び機器のコンセプト（試作機器あれば写真を添付）	試作機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>①想定する使用者</p> <p>②想定する使用場面</p> <p>③想定する使用方法</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望		

2. 申請機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	
機器の概要 (写真を添付すること)	<u>想定する使用者、使用場面</u>
	<u>機能と使用方法、有用性</u>
	<u>類似する機器との相違</u>
	<u>当該機器と介護業務との関連性</u>

現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント</u> （性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。
	<u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。
	<u>開発に関する当面の課題</u>

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	
2. 調査概要	1) 調査対象： 2) 調査したい場面、場所： 3) 調査期間（日数）： 4) 機器の台数：

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP8～9を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	【調査手法】 <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他： 【想定する調査方法】
---------------------	---

2. 利用環境の条件 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
3. 機器の利用効果 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
4. 機器の使い勝手 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
5. 介護現場での利 用の継続性に関す ること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式 E (介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会理事長 殿

事業者名
 担当者所属
 担当者名
 電話番号
 電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書

標記について、下記のとおり報告します。

案件番号		
機器の名称 (仮称)		
モニター調査の実施体制		
実施経過	実施時期	主な実施内容
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実施結果 (計画概要書に沿って記入してください)		
市場投入に向けて有用となった事項		
モニター調査後の協力施設との関係		
本事業に対する要望等		

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

5. 参考資料（介護施設等向けの様式）

様式 1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書

1. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

※上記「2」を選択した場合には、案件に応じて、Ns、PT、OT、ST等がアドバイスを行うメンバーに入る必要があります。在籍していない場合には、当協会にご相談ください。

2. 希望する案件・機器の名称

案件番号	
企業名	
機器の名称（仮称）	

3. 実施体制

実施機関名			
実施責任者名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わる者 （アドバイス等に係わる全ての方を記載してください。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			

その他	
-----	--

4. 実施機関の概況

介護業務における 現状の課題	
当案件を希望する 理由	

5. アドバイス支援等の具体的な実施方法

実施方法	
------	--

(注) 本事業では、介護職員等の専門職が試用する事業であり、実際の高齢者が試用するものではありません。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式 2 (介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書)

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書

1. 実施体制

実施機関名			
実施責任者			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の職種と 日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わった担当者 （アドバイス等に 係わった全ての方 を記載してください。）	氏 名	所 属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年

2. 実施結果

案件番号		機器の名称	
企業名			
アドバイス（意見交換） の実施経過	実 施 日	実 施 方 法 等	
使用者の適応範囲に関する留意点、課題			
使用時の利用環境に関する留意点、課題			
期待する効果を発揮するための課題及びその対応策			
使い勝手に関する課題及びその対応策			
特にアドバイス（意見交換）してほしい事柄に対する結果			
その他			

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業）

請 求 書

金 _____ 円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業」について、上記のとおり請求します。
 なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金 融 機 関 名	銀行	支店
預 貯 金 種 別		
口 座 番 号		
(フリガナ) 口 座 名		

2. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	

3. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

公益財団法人 テクノエイド協会
 理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
 住所 〒

事業者名

代表者

印

様式4 (介護ロボット等モニター調査 実施希望書)

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 実施希望書

1. 希望するモニター調査事業

案件番号		機器の名称	
企業名			

2. 実施体制

実施機関名			
実施責任者氏名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と 日常業務			
モニター調査に係 わる者 (モニター調査に 係わる全ての方を 記載してください。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
モニター調査実施 可能な期間			
福祉用具の開発に 関与した実績等(あ れば記載してくだ さい)			
今回、モニター調査 を希望する施設と してのねらい			

3. メーカーがモニター調査したい内容に対する対応予定

項目	対応予定

4. 当該機器に対して、介護施設等の側からモニターしたい内容等

項目	モニターしたい内容

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 結果報告書

1. 実施体制

実施機関名			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の資格と 日常業務			
モニター調査に係 わった担当者 (モニター調査に 係わった全ての方 を記載してくださ い。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年

2. 実施状況

案件番号		機器の名称	
企業名			
実施期間	月 日 ~ 月 日		
調査対象とした介護サ ービスの種類・内容			
機器を利用した介護サ ービス場面			
機器を利用した対象者 の状態像、人数			
モニター調査結果の収 集と記録の方法			
応募時と異なったこと 想定していなかったこ と等			
その他			

3. モニター調査結果

<p>利用対象者の適用範囲 (特に留意すべき点など)</p>	
<p>利用環境の条件 (特に留意すべき点など)</p>	
<p>機器の利用効果 (機器の特性に即して あてはまる項目について 記入すること。)</p>	<p><u>介護を受ける側への効果</u> (本人のADLやQOLの維持・向上、精神的負担の軽減等)</p>
	<p><u>介護する側への効果</u></p>
	<p><u>介護業務の過程における効果</u> (安全な介護の実施や効率的な介護の実現等)</p>
	<p><u>その他</u></p>
<p>使い勝手や操作機能性</p>	
<p>改良の希望とその理由</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）

請 求 書

金 150,000円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護ロボット等モニター調査」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

公益財団法人テクノエイド協会の概要

○目的

当協会は、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具の臨床的評価、福祉用具関係技能者の養成並びに義肢装具士に係る試験事務等を行うことにより、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。

○設立

- ・ 1987年（昭和62年）3月16日
財団法人設立許可（厚生省社第220号）
- ・ 1987年（昭和62年）4月1日
法人設立登記
- ・ 2011年（平成23年）7月1日
公益財団法人へ移行登記

○主な事業

- ・ 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る事業
- ・ 福祉用具の臨床評価に関する事業
- ・ 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業
- ・ 福祉用具に関する調査研究事業
- ・ 福祉用具の規格化・標準化に関する事業
- ・ 福祉用具関係技能者の養成
- ・ 義肢装具士の国家試験
- ・ その他、福祉用具に係る事業



○所在地

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石（ねいし）
TEL 03-3266-6883

福祉用具・介護ロボットの開発と普及に関する取り組み

これまでの福祉用具・介護ロボットに関する取り組み及び情報、研究報告等は、当協会のホームページに掲載しています。

本事業で必要な様式も以下からダウンロード可能となっています。

<http://www.techno-aids.or.jp/>